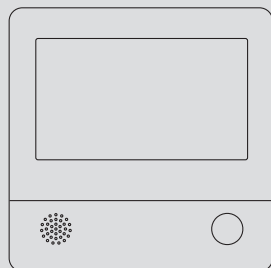


取扱説明書

エネファーム発電専用リモコン

品番

RC-F166MW



はじめに

ご使用前に

エネルギー

無線LAN機能

停電時発電継続運転

メニューからの運転・設定
(ユーザー設定)

こんなとき

困ったとき

ご参考



事前にご確認ください

このたびは当社製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます

- この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があれば東邦ガスにお問い合わせください。
- この取扱説明書は、別冊の燃料電池ユニットの取扱説明書(保証書付)と併せて、いつでもご覧になれるところに保管してください。

エネファーム発電専用リモコンの操作を説明しています

- 燃料電池ユニットについては、別冊の燃料電池ユニットの取扱説明書で説明していますので、併せてお読みください。

文中の(P○)の数字は参照ページを表します

説明中のリモコン表示画面は一例です

- 実際の表示画面は、設置状態や使用状況によって異なります。

この取扱説明書での機器の呼びかた

- 燃料電池ユニットを**発電ユニット**、燃料電池ユニットと給湯機器を合わせたシステムを**エネファーム**と呼びます。
- エネファーム発電専用リモコンを**リモコン**と呼びます。

逆潮流の有無はご購入時にお客さまに選択していただきます

- 逆潮流の設定は施工時に施工業者がおこないます。お客さまご自身で設定変更はできませんのでご了承ください。設定変更をご希望される場合は、東邦ガスまでご相談ください。
- 逆潮流に関する詳細は東邦ガスホームページ等をご覧ください。

逆潮流有の設定を選択された場合は、画面表示が異なります

- 逆潮流有の設定を選択された場合とされていない場合で、発電に関する表示が異なります。(この取扱説明書では、逆潮流有の設定を選択されていない場合の表示例で説明しています)
- この取扱説明書では、「逆潮流有の設定を選択された場合」を「逆潮流の場合」として説明しています。

以前の入居者がエネファームを使用していた可能性がある場合

- エネファームをご使用になる前に、リモコンの「全設定初期化」をしてください。(P43「ユーザー設定を初期値に戻す」)

もくじ

はじめに

事前にご確認ください	2
もくじ	3
必ずお守りください(安全上の注意)	4

ご使用前に

各部のなまえとはたらき	5
スイッチ・ランプ・マーク	5
表示画面	6
トップ画面	7
トップ画面のモードを切り替える	9
日時をあわせる	10

エネルギー

エネルギーとは	11
トップ画面で現在のエネルギーの状況を見る	12
エネルギーで詳しい使用状況を見る	13
発電レポートで電気の状況を確認する	13
発電量の履歴を確認する	14
各エネルギーの使用量などの履歴を確認する	14
各エネルギーの状況を料金で確認する	15
使用開始から現在までの発電の累積値を確認する	16
エネルギーの設定を変える	16

無線LAN機能

無線LANルーターと接続してできること	19
トップ画面に「無線LAN設定をおこなってください」の表示が出ているとき	19
リモコンと無線LANルーターを接続する	21
リモコンとスマートフォンを接続する	25
ツナガルスイッチを操作する	26
配信情報を見る	27
すべてのスマートフォンとの接続を解除する	28

停電時発電継続運転

停電時発電継続仕様の場合

停電時に電気を使う＜停電時発電継続運転＞	28
----------------------	----

メニューからの運転・設定(ユーザー設定)

メニューから運転操作をする・設定を変える(ユーザー設定)	33
メニュー一覧	33
発電	34
音・その他	35

こんなとき

リモコンのお手入れ	43
-----------	----

困ったとき

故障・異常かな?と思ったら	44
リモコンに故障表示が出ているとき	47

ご参考

リモコンにアップデートに 関するお知らせを表示したとき	48
転居されるとき	48
アフターサービスについて	48

必ずお守りください (安全上の注意)

- 発電ユニットの取扱説明書の内容も併せてご覧ください。
- お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

⚠危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定されます。

⚠警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定されます。

⚠注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定されます。

お願い

安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

⚠注意 リモコンの取り扱い



- リモコンのスピーカーに耳を近づけない
大きな音が出る場合があります、聴覚障害などを引き起こす原因になります。

禁止

- リモコンには磁石を使用しています
磁石の力は非常に微弱ですが、ペースメーカーなど医療機器を使用している方は、医師とご相談のうえ使用してください。

お願い リモコンの取り扱い

- リモコンを子供がいたずらしないよう注意する
- リモコンに水しぶきをかけない、蒸気を当てない
炊飯器、電気ポットなどに注意。故障の原因になります。
- 表示画面(タッチパネル)は、必ず指でタッチする
- 表示画面(タッチパネル)は、鋭利なものや固いもの(ボールペン、ピンなど)で押したり、必要以上に強く押したりしない
正常に動作しなかったり、タッチパネルの表面を傷つける原因になります。また、必要以上に強く押すと、タッチした部分に画面のゆがみやムラが出ます。パネルの特性で異常ではありませんが、何度も強く押すと故障の原因になります。

お願い リモコンのメンテナンス

- リモコンを分解しない
故障や、思わぬ事故の原因になります。

- リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤、メラミンスポンジを使用しない
変色・変形・傷・割れなどの原因になります。

お願い リモコンの設置環境

- リモコンは0℃～40℃の室温で使用する
故障の原因になります。

⚠危険 停電時発電継続仕様の場合



- 災害時など、ガス漏れの危険性がある場合は、停電時発電継続運転をしない
火災などの原因になります。

禁止

⚠警告 停電時発電継続仕様の場合



- 停電時専用コンセントが設けられていることを確認する
停電時に発電ユニットで発電した電気を使用するには、停電時専用コンセントが必要です。停電時専用コンセントには「エネファーム」/「停電時自立発電専用」/「出力電力約700W」と表示されていることを確認してください。

- 停電時以外は停電時専用コンセントに電気機器を接続しない
接続した電気機器に突然電気が流れ、機器が損傷する原因や、突然の動作による事故の原因になります。



- 停電時専用コンセントには、途中で電源が切れると生命・財産に損害を受けるおそれのある、以下のような機器を接続しない
 - ・ すべての医療用機器
 - ・ 灯油などを用いた暖房機器
 - ・ 炊飯器、電子レンジなどの調理機器
 - ・ バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器および周辺機器
 - ・ その他、電源が切れると生命・財産に損害を受けるおそれのある機器

停電時専用コンセントには停電時だけ電気が供給され、停電が復旧すると自動的に電気の供給が止まります。

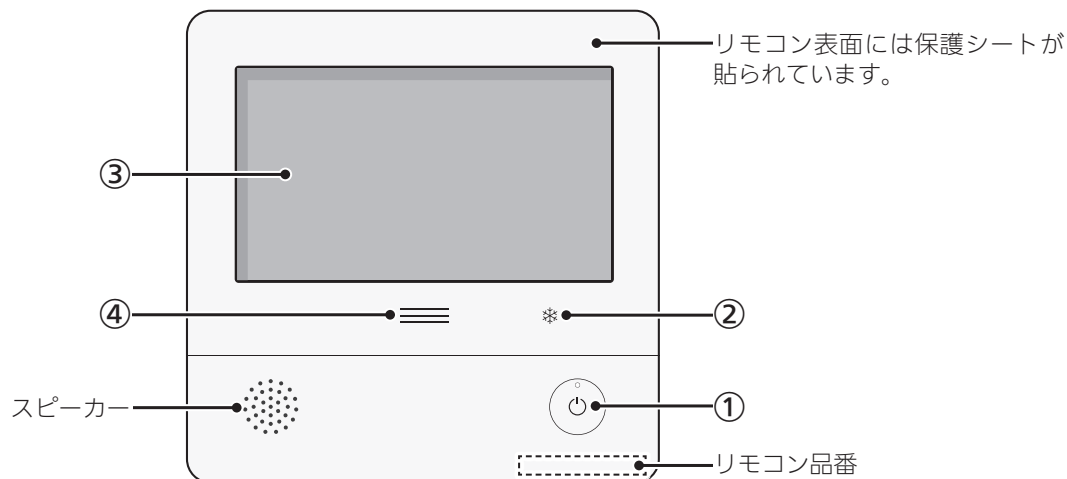
- 消費電力が700W以上になる機器は接続しない
停電時発電継続運転で利用できる電気の量は最大約700Wです。

- 停電時専用コンセントと家庭内の普通のコンセントを延長ケーブルなどで絶対に接続しない
感電、発火などの原因になります。

- 停電していない時に、意図的にブレーカーを切って停電時発電継続運転させない
思わぬ事故の原因になります。また、本来の機能、メリットが損なわれます。

各部のなまえとはたらき

スイッチ・ランプ・マーク



はじめに

ご使用前に

① ON/OFFスイッチ・ランプ

- ・画面を表示させたり消したりするときに。
 - ・画面を表示するとランプ点灯、画面が消えるとランプ消灯します。
 - ・不在停止中の画面消灯時(P34)はランプ点滅。
- ※発電ユニットを起動したい場合は発電ユニットの取扱説明書を、停止したい場合は本取扱説明書のP34「不在停止」、P35「発電禁止」をご参照ください。

② 凍結予防運転中マーク

凍結予防のために発電ユニットのヒーターが作動しているときに点灯。

③ 表示画面 (P6～8)

- ・タッチパネルです。(P6)
- ・画面が消えているときにタッチすると、画面を表示します。
- ・リモコンの節電のため、「表示の節電」機能を備えています。(P6)
- ・表示画面のお手入れをするときは、P41「タッチパネルのお手入れをする」の方法でタッチ操作を無効にしてください。

④ 発電ランプ

- ・発電ユニットで発電中に点灯します。
- ・現在の使用電力の状態を、色で表します。

使用電力が多い

1.2kW	オレンジ色 (節電お知らせ)	使用電力が増えています 節電してください
0.7kW	青色	使用電力が少し増えています
少ない	緑色	発電ユニットの発電内で 上手に使用されています

- ・逆潮流の場合は、買電中か売電中かを表示します。

オレンジ色 (節電お知らせ)	使用電力が発電電力より多いので 買電しています
青色	使用電力が発電電力より少ないので 売電しています

表示画面(タッチパネル)の操作の基本

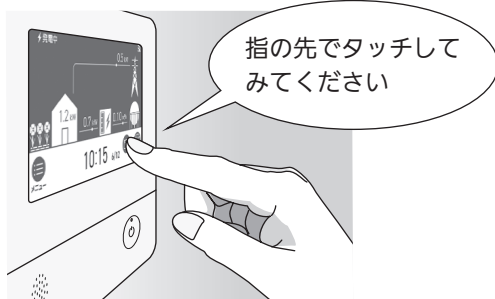
- リモコンの表示画面は、指でタッチするとスイッチ操作ができます。
 - 圧力を感知するタイプのタッチパネルです。ある程度の力で確実にタッチしてください。
- ※片方の指で画面を触りながらもう片方の指で操作するなど、2点以上同時にタッチすると、正常に動作しません。

お願い

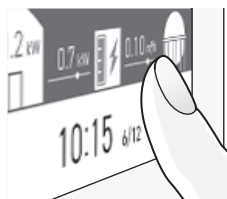
- 表示画面(タッチパネル)は、必ず指でタッチする
- 表示画面(タッチパネル)は、鋭利なものや固いもの(ボールペン、ピンなど)で押したり、必要以上に強く押したりしない

正常に動作しなかったり、タッチパネルの表面を傷つけたりする原因になります。また、必要以上に強く押すと、タッチした部分に画面のゆがみやムラが出ます。パネルの特性で異常ではありませんが、何度も強く押すと故障の原因になります。

? スイッチ操作がうまくいかないときは…

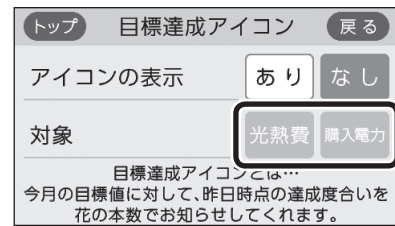


スイッチに指が当たる前に、爪や指の先端がスイッチ以外の場所に当たると、スイッチがタッチを感知しないことがあります。



■ グレーになっているスイッチは操作できません

(例：アイコンの表示を【なし】にしたとき)



設定できません

表示の節電について

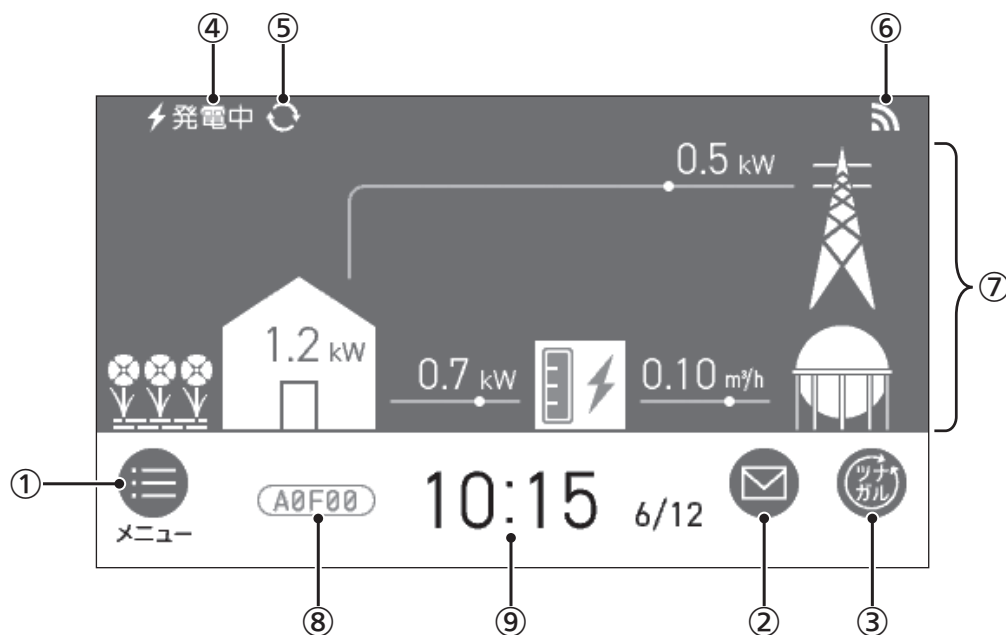
- ON/OFFスイッチを押したり画面をタッチしたりしないまま約10分たつと、表示が消えます。
- 以下の操作で表示の節電が解除されます。
 - ・画面をタッチする
 - ・ON/OFFスイッチを押す
- 以下の場合は、表示の節電はしません。
 - ・発電ユニットが起動するときの約1分間
 - ・(停電時発電継続仕様の場合) 停電時発電継続運転中
 - ・日時が未設定の状態が10分以上続いた場合
 - ・故障表示中

お知らせ

- 表示画面に市販の保護シートなどを貼り付けると、正常に動作しないことがあります。
- 画面の液晶には、一部に点灯しないドット(点)、または常時点灯するドット(点)が存在する場合がありますが、故障ではありません。

トップ画面

- 下記の表示画面は説明用です。実際は、運転の状態によって表示が異なります。



タッチできるスイッチ表示

- ① **メニュースイッチ**
いろいろな設定を変えたり、メニューから運転するとき。
- ② **配信情報スイッチ**
アプリまたはエネファームの販売事業者等から送信されたメッセージを確認するとき。(P27)
- ③ **ツナガルスイッチ**(P26)
※「ツナガルスイッチ」は大阪ガス株式会社の商標です。

タッチしても変わらない表示

- ④ **発電状況表示**
そのときの発電の状況を表示します。(P8)
- ⑤ **発電モードマーク**(P8)
- ⑥ **無線LAN状態表示**(P8)
- ⑦ **エネルギー状況表示**
現在の発電状況やエネルギーの使用状況を表示。(P12)
- ⑧ **故障表示**
不具合が生じたときに表示。(P47)
- ⑨ **日付・時計表示**

発電状況表示について



表 示	状 態
 (点灯)	発電しています
 (点滅)	起動中(発電準備中)です
 (交互表示)	発電停止の動作中です
(表示なし)	発電ユニットは停止しています



表 示		状 態
発電中※1		発電しています
起動中		起動中(発電準備中)です
停止中		発電停止の動作中です
(表示なし)		発電ユニットは停止しています
発電禁止		発電を強制的に禁止しています (P35「発電禁止」)
発電×		発電ユニットが使用できない 場合に表示します
出力抑制※2		機器の保護のため、発電ユ ニットの出力を抑えています
不在停止		発電を停止しています (P34「不在停止」)
逆潮流の 場合	電圧抑制※3	発電ユニットの出力を一時的 に抑えています
	売電中	発電した電力を売電しています
停電時発電継続 仕様の 場合	 自立↔  自立 (交互表示)	停電時発電継続運転しています
	 自立↔  自立・高 (交互表示)	高出力モード(P31)で 停電時発電継続運転しています

※1：停電時発電継続仕様でない場合、発電中に停電が起きたときに、リモコンに「発電中」と表示することがありますが、故障ではありません。ただし、このとき発電ユニットで発電した電気を家庭内の電気機器などで使用することはできません。

※2：外気温が高いときや、熱が滞留するような設置環境にあるときは、運転を継続させるために、発電ユニットの出力を抑えます。これらの条件が解消されると、この機能は自動的に解除されます。
詳細は、発電ユニットの取扱説明書の「故障・異常かな?と思ったら」をご参照ください。

※3：自宅につながれている送電線の系統の電圧が高くなりすぎたとき、発電ユニット側の電圧が法律で定められた上限値を超えないよう、発電ユニットの出力を抑えます。系統の電圧が正常範囲に戻ると、この

機能は自動的に解除されます。

詳細は、発電ユニットの取扱説明書の「故障・異常かな?と思ったら」をご参照ください。

発電モードマークについて

タンクリフレッシュ運転マーク

長時間お湯の使用がなかったときなどに、発電ユニットの貯湯タンク内の水質を維持するための運転をしています。

マイコンメーター確認マーク

発電中

- 1日に数回約6分間、発電能力を制限しています。

のみ

- お客さま宅のガスメーター(マイコンメーター)の誤警報防止のため、発電ユニットは26日間連続して発電すると、27日目に約24時間停止します。この機能により停止している間は、この表示が出ます。
- この表示が出たら、すべてのガス機器(暖房も含む)を最低70分以上使用しないでください。70分あけずにガス機器を使用すると、ガスメーター(マイコンメーター)がガス漏れと誤警報します。

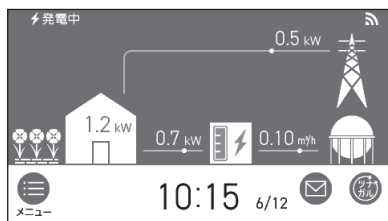
無線LAN状態表示について

表 示	状 態
	無線LANルーター・サーバーに接続しています
	無線LANルーターとは接続していますが、サーバーと通信できていません(P46)
圏外	無線LANルーターの圏外になっているか、無線LANルーターとの接続が切断されています(P44)
(非表示)	●無線LANルーターとの接続設定がされていません(接続方法→P21) ●無線LANルーターとの接続設定をしていても、【音・その他】の「無線LAN」が【OFF】の場合は非表示になります

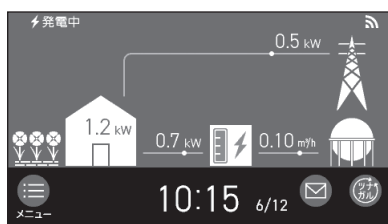
トップ画面のモードを切り替える

- 明るい基調と暗い基調を切り替えられます。

(明るい基調のトップ画面の表示例)



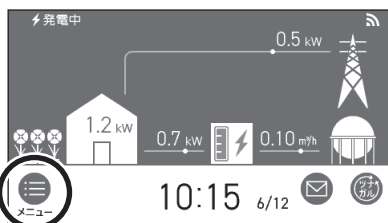
(暗い基調のトップ画面の表示例)



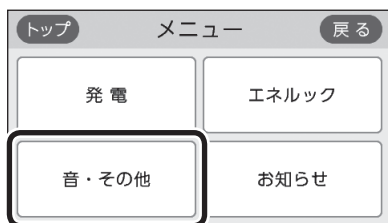
手順

1. トップ画面で【メニュー】をタッチする

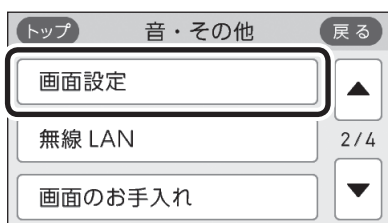
(表示例)



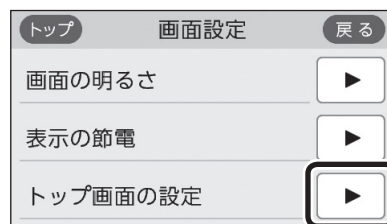
2. 【音・その他】をタッチする



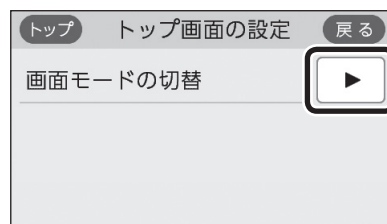
3. 右下の▼でページを送り、【画面設定】をタッチする



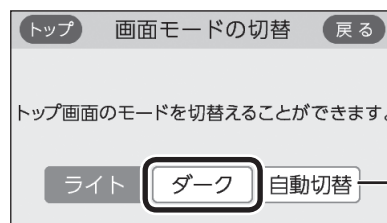
4. 「トップ画面の設定」の【▶】をタッチする



5. 「画面モードの切替」の【▶】をタッチする



6. 【ダーク】をタッチする



【自動切替】に設定すると、毎日18時になると自動的に暗い基調(ダーク)になり、次の日の朝6時になると明るい基調(ライト)に戻ります。

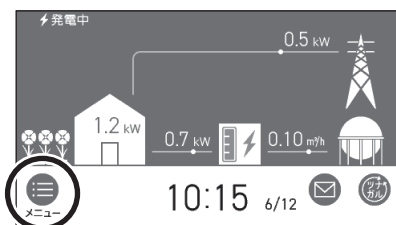
日時を合わせる

- 無線LANルーターと接続すると(P21)、インターネットを介して自動で日時を取得するため、「日時合わせ」の必要はありません。また、手動で日時合わせをしても自動的にインターネットで取得した日時に変更されます。
(ただし、無線LANの設定(P38)を【OFF】にしたり、「ネットワーク日時に同期」の設定(P36)を【無効】にしたりすると、自動で日時は取得できません)

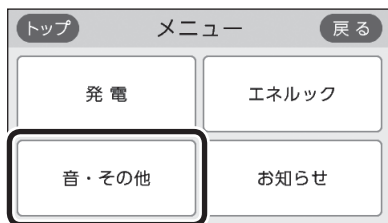
手順

1. トップ画面で【メニュー】をタッチする

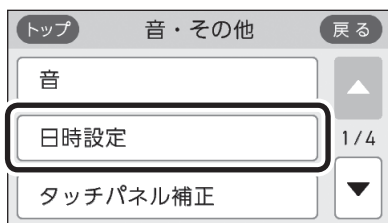
(表示例)



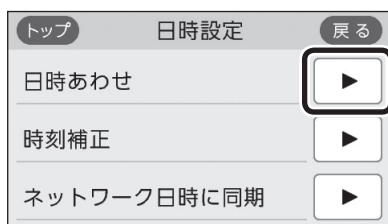
2. 【音・その他】をタッチする



3. 【日時設定】をタッチする



4. 「日時合わせ」の【▶】をタッチする



5. 設定したい項目をタッチしてから、数字をタッチして日付と時刻を入力する



- 【◀】【▶】でも項目を移動することができます。

6. 【決定】をタッチする



- 【決定】をタッチしないと、日時合わせは完了しません。

お知らせ

- 停電のあとや電源を切ったあとは、再通電したときに日時がリセットされている場合があります。無線LANルーターと接続していない場合は、手動で日時を合わせ直してください。
- 日時合わせをしないと、ガスメーター(マイコンメーター)の安全機能確認、エネルギーの表示内容が正しく動作しません。
- 日時を変更すると、エネルギーのデータが上書きされたり「0」になったりすることがあります。

エネルギーとは

エネルギーは、ガス・電気の使用状況を確認できる機能です

- 現在の使用状況をトップ画面で手軽に確認できます。(P12)また、詳しい使用状況は、【メニュー】→【エネルギー】で確認できます。(P13)
- 必要に応じて、表示や料金単価・目標値などの設定を変更できます。(P16「エネルギーの設定を変える」)
- エネルギーの表示は、1時間に1回、または【エネルギー】をタッチしたときに更新されます。

確認できるエネルギーや表示する値について

発電ユニットで使用したガスと、家中の電気の使用状況を確認できます

- 0:00から次の0:00までの使用分を「1日分」として、積算します。
- ガス使用量は、家庭内すべての使用量ではありません。発電ユニットを通らないガス(給湯機器、ガスコンロ、ガスファンヒーターなど)の使用分は、積算しません。
- 停電があった場合や発電ユニットの電源を切った場合は、当日分のデータが削除されたり正しい値を表示しなかったりします。

逆潮流の場合は、売電・買電の状況も確認できます

売電・買電とは

- 売電とは、発電ユニットの発電電力が使用電力より多い場合に、余った電力を電力会社に売ることです。
- 買電とは、発電ユニットの発電電力が使用電力より少ない場合に、不足している電力を電力会社から買うことです。

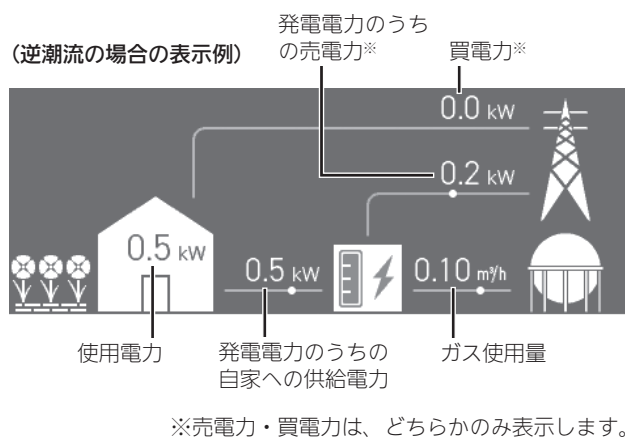
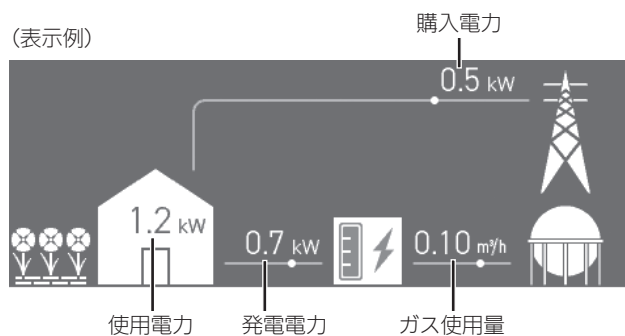
表示する値は、実際の使用量や料金とは異なります

- リモコンに表示する使用量・料金などの値は目安です。
- トップ画面に表示されている電力などの値は、タイミングによっては実際の値とはずれが生じることがあります。
- リモコンのソフトウェアを更新した場合は、当日分のデータが削除されたり正しい値を表示しなかったりします。
- 発電ユニットのソフトウェアを更新した場合は、正しい値を表示しない場合があります。
- リモコンに表示する料金に基本料金は含まれません。

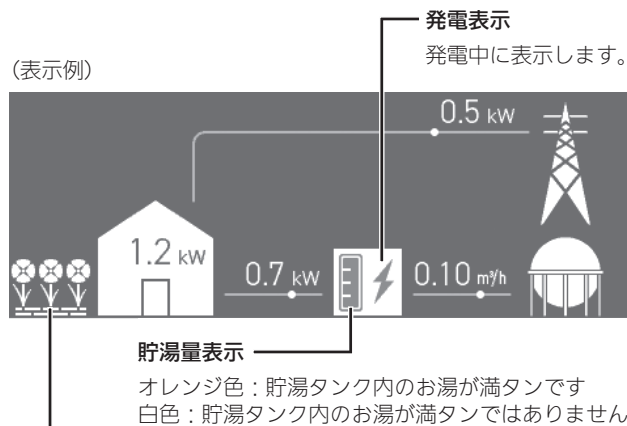
- ガス・電気の料金は、ご家庭に設置されている各メーターの使用量に応じて請求されます。リモコンに表示する金額で請求されることはありません。(特にガスについては、発電ユニット以外で使用する場合がありますため、請求額が大きく異なります)
- ガス・電気の実際の料金単価は、使用量に応じて変動します。また、料金プランによっては、料金単価が時間毎に変わる場合もあります。
- 表示する値が記号の場合があります。
エネルギーの値がリモコンに表示できる桁数より小さくなった場合は、「#」を表示します。
また、エネルギーの値の計算が不可能な状態になった場合(例：使用電力量が「0」だった場合に、発電レポート(P13)の自給率の計算(発電量÷使用電力量×100)の値が出せないときなど)は、「-」を表示します。

トップ画面で現在のエネルギーの状況を見る

- 現在使っている電力、現在発電している電力、現在購入している電力または売電・買電の状況を確認できます。



発電表示・貯湯量表示・目標達成アイコンについて



目標達成アイコン

目標値より使用実績が多いか少ないかを、花の数でお知らせします。(昨日までの使用状況を反映します)



目標より10%以上節約できています



目標より5～10%節約できています



ほぼ目標どおり節約できています



目標に対して節約できていません

- 参照：P18「目標値とは」

エネルックで 詳しい使用状況を見る

発電レポートで電気の状況を確認する

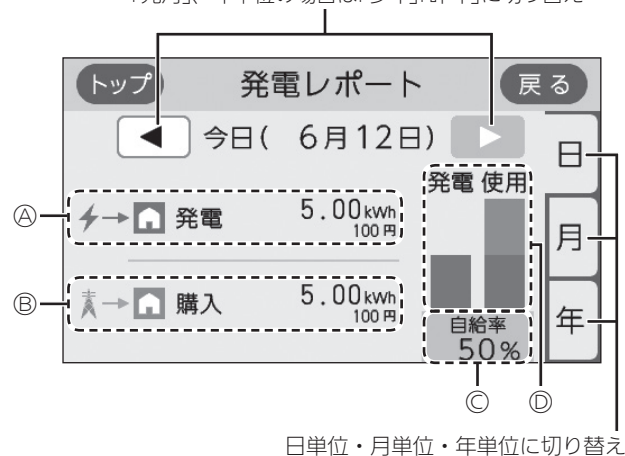
- 電気の状況(発電量、使用電力量、購入電力量または売電量・買電量、自給率)を、日・月・年単位で確認できます。

手順

1. トップ画面で【メニュー】をタッチする
2. 【エネルック】→【発電レポート】をタッチする

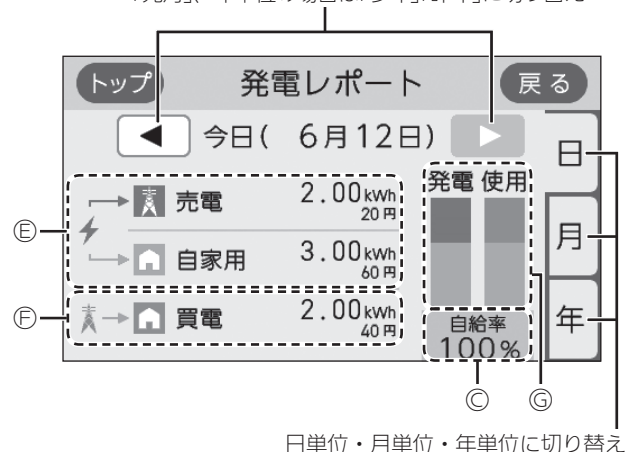
(「日」の表示例)

日単位の場合は「今日」「昨日」、月単位の場合は「今月」「先月」、年単位の場合は「今年」「昨年」に切り替え



(逆潮流の場合/「日」の表示例)

日単位の場合は「今日」「昨日」、月単位の場合は「今月」「先月」、年単位の場合は「今年」「昨年」に切り替え



- ④発電量(発電ユニット)※1
- ⑤購入電力量
- ⑥発電量と使用電力量から計算した電気の自給率※2
- ⑦発電量と使用電力量の内訳を表すグラフ
緑：発電量 オレンジ：購入電力量

⑥発電量(発電ユニット)のうちの売電量・自家への供給電力量※1

⑦買電量

⑧発電量と使用電力量の内訳を表すグラフ

緑：売電量 黄緑：自家供給電力量

オレンジ：買電量

※1：自家への供給電力の金額は、電気(または買電)の料金単価を元に表示しています。(P17)

※2：自給率＝発電量÷使用電力量×100

お知らせ

- 自給率が300%を超えたり、33%以下になったりした場合は、グラフの中が〰で省略されます。

発電量の履歴を確認する

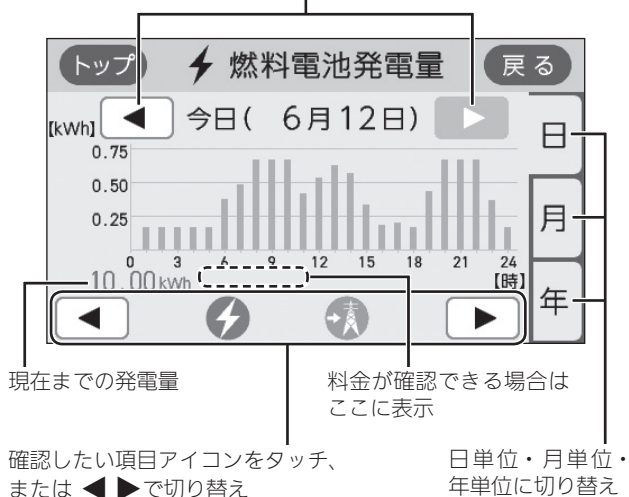
- 日・月・年単位で確認できます。

手順

1. トップ画面で【メニュー】をタッチする
2. 【エネルギー】→【発電モニター】をタッチする

(逆潮流の場合の表示例)

日単位の場合は「今日」「昨日」、月単位の場合は「今月」「先月」、年単位の場合は「今年」「昨年」に切り替え



項目アイコン	
 燃料電池発電量	発電ユニットの発電量と料金を確認できます※1
 売電量※2	発電ユニットの売電量と料金を確認できます

※1：逆潮流なしの場合は、燃料電池発電量に表示する料金は、電気の料金単価を元に表示します。

逆潮流の場合は、料金の表示はしません。

※2：逆潮流の場合のみ表示します。

各エネルギーの使用量などの履歴を確認する

- エネルギーの項目ごとに日・月・年単位で確認できます。

手順

1. トップ画面で【メニュー】をタッチする
2. 【エネルギー】→【使用量】をタッチする

日単位の場合は「今日」「昨日」、月単位の場合は「今月」「先月」、年単位の場合は「今年」「昨年」に切り替え



項目アイコン	料金表示	目標表示
 使用電力量	(表示しない)	「月」のみ表示
 購入電力量 (逆潮流の場合は表示しません)	表示	「月」のみ表示
 買電量 (逆潮流の場合のみ表示します)	表示	「月」のみ表示
 ガス使用量	表示	「月」のみ表示

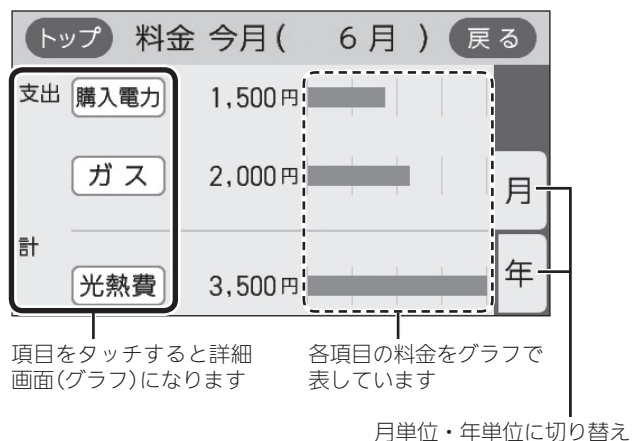
各エネルギーの状況を料金で確認する

- 各エネルギーの料金、料金全体の比率、エネルギー項目ごとの詳細(グラフ)を、月・年単位で確認できます。詳細グラフでは現時点の目標と今月の目標も表示するので、省エネの意識づけに役立ちます。
- 料金単価の設定は、P17「料金設定」の方法で変更できます。

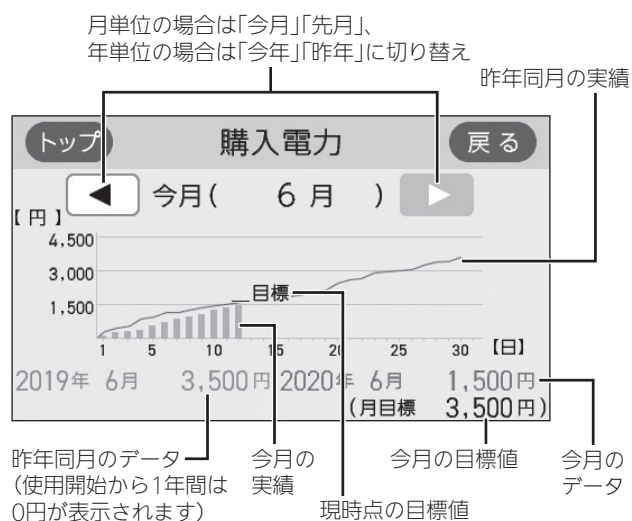
手順

1. トップ画面で【メニュー】をタッチする
2. 【エネルギー】→【料金】をタッチする

(表示例)

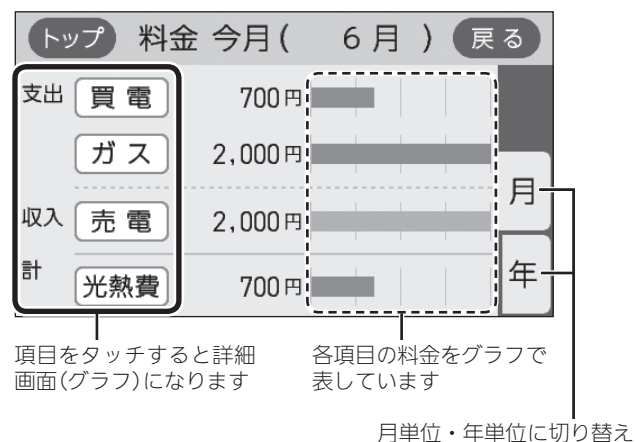


(購入電力の「月」の詳細画面例)

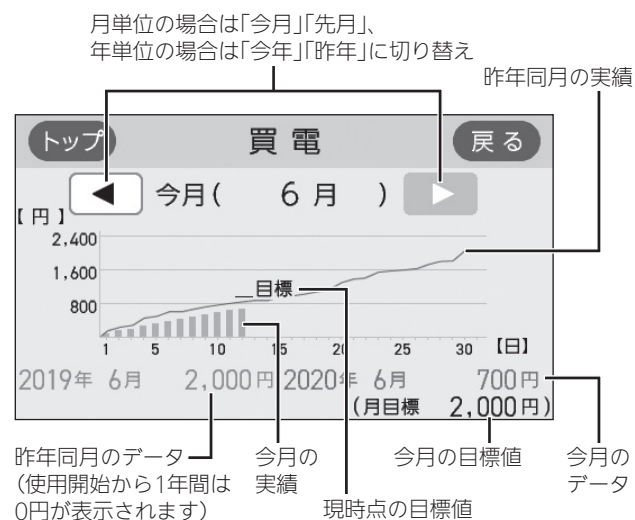


- 光熱費とは、購入電力・ガスの使用料金を合計したものです。
- 「目標」は「今月」のみ表示します。

(逆潮流の場合の表示例)



(逆潮流の場合/買電の「月」の詳細画面例)



- 光熱費とは、買電力と売電力の差・ガスの使用料金を合計したものです。
- 売電力の「目標」の値は表示しません。
- 「目標」は「今月」のみ表示します。

お知らせ

- 昨年の値がない場合は、目標値を自動的に算出します。(P18「目標値とは」)

エネルギーの設定を変える

使用開始から現在までの発電の累積値を確認する

手順

1. トップ画面で【メニュー】をタッチする
2. 【エネルギー】→【累積発電量】をタッチする

(表示例)

トップ	累積発電量	戻る
⚡ 燃料電池		
発電量	600 kWh	(1 万 2 千円)

- 料金は千円単位で表示します。(千円未満切り捨て)
- 発電量の料金は、電気の料金単価を元に表示します。自家用の料金は、買電の料金単価を元に表示します。(P17)
- 逆潮流の場合、「発電量」の表示が、「売電量」「自家用」になります。

- エネルギーをより便利に使うために、お好みに合わせて設定が変更できます。

エネルギーメニュー	項目	設定内容	初期設定
料金設定 (P17)	電気 ※1	0～999円/kWh	20円/kWh
	買電 ※1	0～999円/kWh	20円/kWh
	売電 ※1	0～999円/kWh	10円/kWh
	ガス	0～999円/m ³	100円/m ³
目標値設定 (P17)	電気代	50～150%	100%
	ガス代	50～150%	100%
トップ画面の表示内容 (P18)	目標達成アイコン	アイコンの表示 あり なし	あり
	対象	※2 光熱費 購入電力	光熱費
エネルギー初期化 (P18)	開始		—

※1：逆潮流の場合、「電気」ではなく「買電」「売電」を表示します。

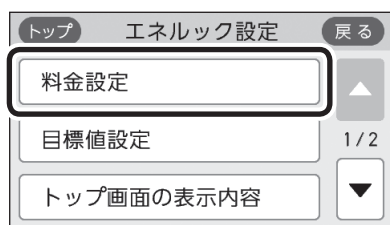
※2：逆潮流の場合、「購入電力」は「買電」になります。

料金設定

- 料金単価は「ガス使用量のお知らせ」「電気使用量のお知らせ」などの明細書を参考にしてください。（各明細書について不明な場合は、ガス事業者・電気事業者にお問い合わせください）

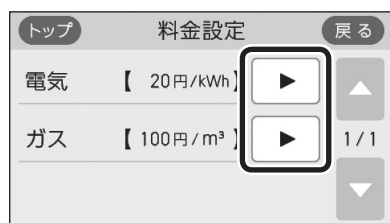
手順

1. 【メニュー】→【エネルギー】→【エネルギー設定】をタッチする
2. 【料金設定】をタッチする



3. 設定したい項目の【▶】をタッチする

（表示例）



- 逆潮流の場合は、「電気」ではなく「買電」と「売電」の料金設定ができます。

4. 料金を変更 → 【決定】をタッチして確定する

（電気の表示例）



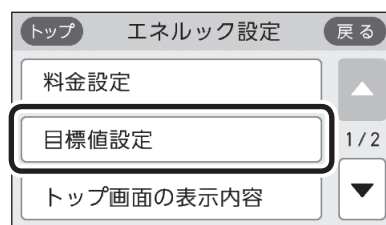
- 【決定】をタッチしないと、設定は完了しません。
- 変更後の単価は、過去のデータにも反映されます。

目標値設定

- <目標値のヒント> 昨年の実績と同じ程度の電気代・ガス代でよい場合は100%に、昨年より節約したい場合は100%より少なく、昨年より多く使用する見込みがある場合などは100%より多く設定してください。

手順

1. 【メニュー】→【エネルギー】→【エネルギー設定】をタッチする
2. 【目標値設定】をタッチする



3. 設定したい項目の【▶】をタッチする

（表示例）



4. 目標値を変更 → 【決定】をタッチして確定する

（電気代の表示例）



- 【決定】をタッチしないと、設定は完了しません。
- 「昨年同月」の値は、初年度は0円になります。

（つづく）

目標値とは

- 昨年※の同月の実績値を基準として、「今月の目標値」が算出されます。
 - 「目標達成アイコン」(P12)での「目標値」は、今月の目標値を日割りした値と、月のはじめから昨日までの日数分をかけたものです。
 - 【料金】(P15)で表示される「現時点の目標値」は、今月の目標値を日割りした値と、月のはじめから今日までの日数分をかけたものです。
- ※使用開始から14ヶ月に満たない場合は、以下の値を基準として算出されます。
- ・ 使用開始から2か月以内：『総務省統計局の「平成27年以降の結果-二人以上の世帯」のデータ』を参考にした値
 - ・ 使用開始から3か月～13か月：先月の使用状況から予測した値

トップ画面の表示内容

- トップ画面の目標達成アイコンを表示するかしないか・目標達成アイコンでどのエネルギーの状態を表示するかを変更できます。

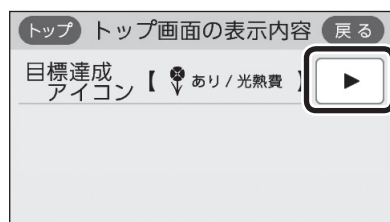
手順

1. 【メニュー】→【エネルギー】→【エネルギー設定】をタッチする
2. 【トップ画面の表示内容】をタッチする

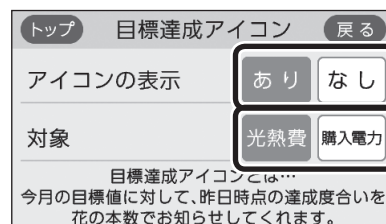


3. 「目標達成アイコン」の【▶】をタッチする

(表示例)



4. 変更したい項目の設定をタッチする



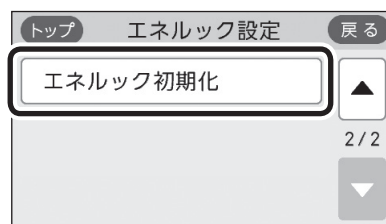
逆潮流の場合、対象は「光熱費」か「買電」かを選べます。

エネルギー初期化

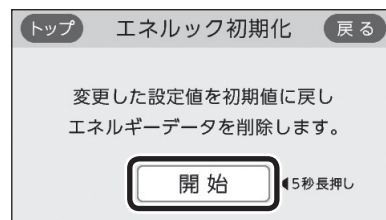
- 変更したエネルギー設定の値や、エネルギーデータ(数値・グラフ)を初期化できます。

手順

1. 【メニュー】→【エネルギー】→【エネルギー設定】をタッチする
2. 右下の▼でページを送り、【エネルギー初期化】をタッチする



3. 【開始】を約5秒長押しする(ピピッと鳴るまで)

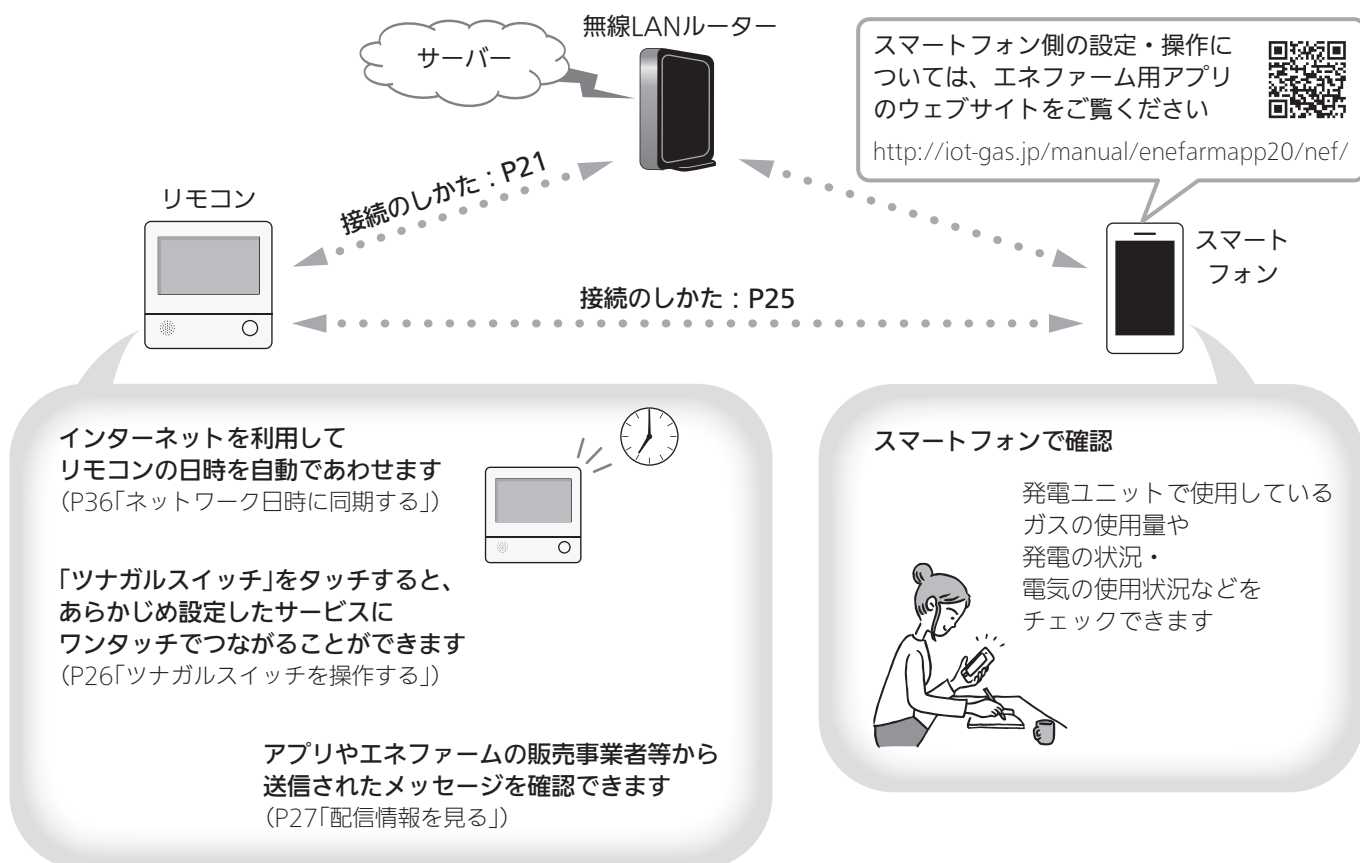


お知らせ

- 累積発電量(P16)は初期化されません。
- 初期化しても、当日分の数値やグラフは表示します。

無線LANルーターと接続してできること

- リモコンを無線LANルーターに接続すると、インターネットを利用した下記に示すサービス等がご利用いただけます。ご利用にはお客さまによる設定が必要です。この取扱説明書では、リモコンと無線LANルーター、リモコンとスマートフォンの設定を説明しています。
- 下記の無線LAN機能を使用するには、リモコンで「無線LAN」の設定を【ON】にしておく必要があります。(P21～22の手順1～4)



無線LAN機能のご使用について

- サービスのご利用には常時接続のインターネット環境が必要となります。
- インターネット環境・無線LAN環境・スマートフォンはお客さまでご準備ください。
- ご使用の無線LANルーター、スマートフォン、通信環境によってはご利用できない場合があります。
- リモコンがサーバーと通信するため、インターネットの通信費がかかります。
- インターネット、スマートフォンのご利用に関わる料金は、お客さまのご負担となります。
- リモコンや発電ユニットのソフトウェアをサーバーから自動的にダウンロードし、更新する場合があります。
- アプリのサービス内容などは予告なく変更することがあります。

トップ画面に「無線LAN設定をおこなってください」の表示が出ているとき

無線LANルーターと接続するまでお知らせ表示をします

リモコンと無線LANルーターを接続するまでは、トップ画面上方に下記のようなお知らせをくりかえし表示します。(状況によっては、あいだに違うお知らせ表示をはさむこともあります)

P21～24の方法でリモコンと無線LANルーターを接続すると、お知らせ表示は消えます。

無線LAN設定をおこなってください。



約5秒

【メニュー】→【音・その他】→【無線LAN】から設定できます。

無線LANルーターと接続するまでのあいだ、一時的にお知らせ表示を消したいときは

- P38「無線LAN機能をOFFにする」の方法で、「無線LAN」

を【OFF】にしてください。

※無線LANルーターと接続するには「無線LAN」を【ON】に戻してください。(【OFF】の状態では接続できません)

使用できる無線LANルーター

- IEEE802.11bまたはg,nに対応していること
無線LANルーターの本体(側面や底面)に貼り付けされているシールや、パッケージの表示で確認できます。
詳しくは、無線LANルーターの取扱説明書をご確認ください。
 - セキュリティに関する設定が「WPA/WPA2」「WPA2」「WPA」いずれかの暗号化方式に対応していること
無線LANルーターの取扱説明書でご確認ください。
 - DHCPサーバー機能を搭載していること
無線LANルーターの取扱説明書でご確認ください。
- ※モバイルルーターやテザリングではご使用いただけません。

無線LAN通信についての注意

このリモコンの使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、アマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- このリモコンを使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、このリモコンから移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合は、「無線LAN」の設定を【OFF】にし、東邦ガスにお問い合わせください。
- その他、このリモコンから移動体識別用の特定小電力無線局アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、東邦ガスにお問い合わせください。
- このリモコンに表示した  は、次の内容を表します。

2.4	使用周波数帯域が2.4GHz帯であることを表します
DS/OF	変調方式が、DS-SS(直接拡散)方式およびOFDM(直交波周波数分割多重)方式であることを表します
4	想定される干渉距離が40m以下であることを表します
	使用周波数の全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域の回避が可能であることを表します

無線LANルーター使用時のセキュリティに関する注意

- 無線LANルーターをご使用になる前に、無線LANルーターのセキュリティに関する設定が「WPA/WPA2」「WPA2」「WPA」の暗号化方式であることを確認してください。これら以外のセキュリティ設定(WEPや暗号化なし)をおこなうと、無線LANルーターに接続できません。「WPA/WPA2」「WPA2」「WPA」の暗号化方式で無線LANルーターに接続することで、以下のようなセキュリティ問題が発生する可能性が少なくなります。
悪意ある第三者が、無断で個人のネットワークへアクセスし、
 - ・ 個人情報や機密情報を取り出す(情報漏えい)
 - ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
 - ・ 傍受した通信内容を書き替えて発信する(改ざん)
 - ・ コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)
- 本件のために生じた損害について、当社に責めのある場合を除き、当社は一切の責任を負い兼ねますのであらかじめご了承ください。

無線LANルーターを交換するとき

無線LANルーターを交換したら、以下の手順で接続設定をやり直してください。

- ① リモコンと無線LANルーターとの接続(P21)をする
- ② 「接続ルーター情報」(P40)で、交換した無線LANルーターのSSIDになっていることを確認する

ご使用のスマートフォンを変更するとき

機種変更、修理交換、譲渡等で、リモコンと接続されているスマートフォンを手放す場合は、手放す前に、そのスマートフォンのエネファーム用アプリから接続を解除してください。

接続されたままだと、第三者にそのスマートフォンからお客さまのエネファームの使用状況を見られるおそれがあります。

接続を解除し忘れた場合は、リモコンで「スマートフォンとの接続全解除」(P28)をしてください。(ただし、接続されているすべてのスマートフォンが接続解除されます)

リモコンと無線LANルーターを接続する

電波法に関する注意

このリモコンは、電波法に基づく特定小電力無線機器として、技術基準適合証明を受けています。したがって、このリモコンを使用するときに無線局の免許は必要ありません。

- 分解、改造をしないでください。分解、改造は法律で禁止されています。

このリモコンは、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けています。その証明となる「技適マーク」はリモコンで確認できます。(P40「認証」)

- このリモコンは日本国外での電波法には準じていません。日本国内でご使用ください。

準備

①日時あわせ(P10)をしておく

- 「ネットワーク日時に同期」(P36)が【有効】になっていれば、日時あわせの必要はありません。

②無線LANルーターの以下の設定を確認する

- ・ 無線LANルーターのセキュリティに関する設定が「WPA/WPA2」「WPA2」「WPA」の暗号化方式であること
- ・ 無線LANルーターのDHCP機能が「有効」に設定してあること
- ・ 無線LANルーターがステルス設定(SSIDの隠蔽状態)となっていないこと

※これら以外の設定では接続できません。

③無線LANルーターに自動接続設定用の押しボタンがあるかどうか確認しておく

- プッシュボタンがない場合、またはわからない場合は、無線LANルーターのSSIDと暗号化キーを控えておいてください。(自動接続設定用の押しボタンの有無により、あとの手順が異なります)

④無線LANルーターの電源を入れる

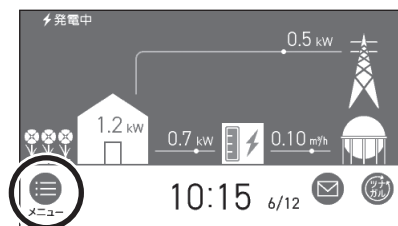
⑤無線LANルーターがインターネットにつながっていることを確認する

- 無線LANルーターの自動接続設定用の押しボタンや各設定については、無線LANルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 無線LANルーターのSSID・暗号化キーについては、無線LANルーターの本体に貼ってあるラベルまたは取扱説明書をご覧ください。

手順

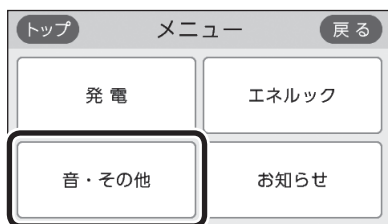
1. 【メニュー】をタッチする

(表示例)



(つづく)

2. 【音・その他】をタッチする



3. 右下の▼でページを送り、【無線LAN】をタッチする



4. 「無線LAN」が【ON】であることを確認する



- 【OFF】になっている場合は【ON】にしてください。

5. 「無線LAN設定」の【▶】をタッチする

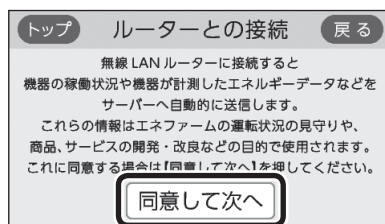


6. 「ルーターとの接続」の【▶】をタッチする



- 「ルーターとの接続」の【▶】がグレーになり設定ができないときは、手順4で「無線LAN」が【ON】になっているか確認してください。

7. 表示内容を確認し、【同意して次へ】をタッチする



運転データの取扱いに関する以下の事項に同意いただいたうえで、リモコンと無線LANルーターを接続してください

- エネファームをネットワークに接続すると、その稼働状況や計測したエネルギーデータなどがサーバーへ自動的に送信されます。
 - これらの情報は、エネファームの運転状況の見守りや修理対応のための機器状況の確認、商品・サービスの開発・改良などの目的で使用されます。これに同意する場合は「同意し、次へ」を押してください。
- ①ガス小売事業者(東邦ガス株式会社)
②発電ユニットの製造メーカー(アイシン精機株式会社)
③お客さまがエネファームを購入した販売事業者

●無線LANルーターに自動接続設定用のプッシュボタンがある場合

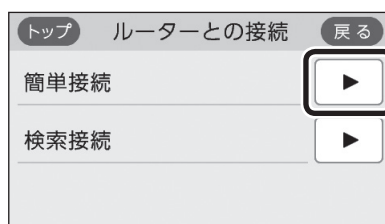
→この続きの「簡単接続」の手順8へ

●無線LANルーターに自動接続設定用のプッシュボタンがない場合／わからない場合

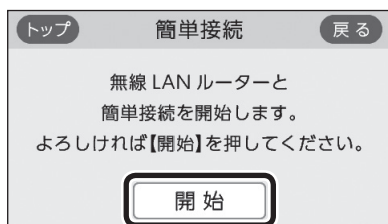
→P23「検索接続」の手順8へ

簡単接続（無線LANルーターに自動接続設定用のプッシュボタンがある場合）

8. 「簡単接続」の【▶】をタッチする



9. 【開始】をタッチする



10.2分以内に、無線LANルーターの自動接続設定用のプッシュボタンを長押しする

- ボタンの操作方法(長押しのタイミングなど)は、無線LANルーターによって異なります。無線LANルーターの取扱説明書をご覧ください。

11. この画面になったら【OK】をタッチする



- 無線LANルーターの機種や電波状態によって、接続までの時間は異なります。
- 無線LANルーターに接続すると、トップ画面に無線LAN状態表示を表示します。
- 無線LANルーターに接続した直後に、「処理中です。しばらく待ってから再度操作してください。」と表示されることがあります。続けて無線LAN機能に関する操作をしたい場合は、10分程度時間をおいてから操作してください。

「無線LANルーターとの接続に失敗しました」のメッセージを表示したとき

① 次のことを確認する

- 無線LANルーターの電源が切れていないか
→ 電源を入れる
- 無線LANルーターやリモコンの近くで、電子レンジが動作していないか
→ 電子レンジが動作していないときに接続操作をする
- 無線LANルーターがリモコンと離れすぎているか
→ 無線LANルーターがつながる場所に無線LANルーターを移動させる

② 【OK】をタッチし(手順8の画面に戻ります)、再度「簡単接続」の手順8からやり直す

- ①の内容を確認後、手順8からやり直しても接続できない場合は、次の項の「検索接続」で接続してください。

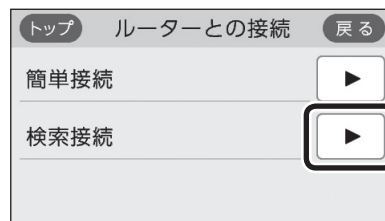
失敗画面にならずトップ画面になったとき

- ① 無線LANルーターのDHCP機能が「有効」になっていない場合は、「有効」にし、無線LANルーターが起動するまで待つ
- ② P21の手順1から再度設定をおこなう

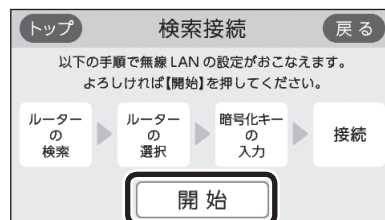
※このとき、リモコンに「処理中です。しばらく待ってから再度操作をしてください。」というメッセージが表示された場合は、もう少し待ち(10分程度)、メッセージが出なくなってから設定をおこなってください。

検索接続 (無線LANルーターに自動接続設定用のプッシュボタンがない場合／わからない場合)

8. 「検索接続」の【▶】をタッチする

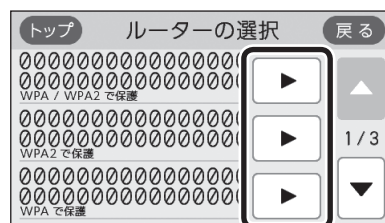


9. 【開始】をタッチする



10. 接続したい無線LANルーターのSSIDを探して、【▶】をタッチする

※接続したいSSIDが表示されていない場合は、右下の▼でページを送る



- 暗号化方式がWEP方式の無線LANルーターや暗号化されていない無線LANルーターは、表示されません。
- 実際の画面では、「0」の部分はお客さまの環境で受信しているSSIDが表示されます。

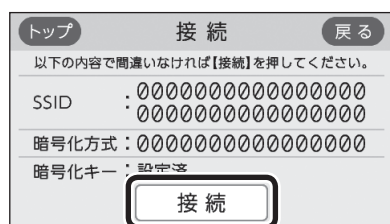
(つづく)

11. 無線LANルーターの暗号化キーを入力

→【決定】をタッチして確定する



12. 内容が間違いないか確認してから【接続】をタッチする



- 実際の画面では、「0」の部分はお客さまの環境で受信しているSSIDが表示されます。

13. この画面になったら【OK】をタッチする



- 無線LANルーターの機種や電波状態によって、接続までの時間は異なります。
- 無線LANルーターに接続すると、トップ画面に無線LAN状態表示  を表示します。
- 無線LANルーターに接続した直後に、「処理中です。しばらく待ってから再度操作してください。」と表示されることがあります。続けて無線LAN機能に関する操作をしたい場合は、10分程度時間をおいてから操作してください。

「無線LANルーターとの接続に失敗しました」のメッセージを表示したとき

「無線LANルーターが見つかりませんでした」のメッセージを表示したとき

① 次のことを確認する

- 無線LANルーターの電源が切れていないか
→ 電源を入れる
- 無線LANルーターやリモコンの近くで、電子レンジが動作していないか

- 電子レンジが動作していないときに接続操作をする
- 無線LANルーターがリモコンと離れすぎていないか
→ 無線LANルーターがつながる場所に無線LANルーターを移動させる
- 暗号化キーを間違えていないか

②【OK】をタッチし(手順8の画面に戻ります)、再度「検索接続」の手順8からやり直す

- ①の内容を確認後、手順8からやり直してもなお接続できない場合や、無線LANルーターが見つからないが続く場合は、無線LANルーターが正常に動作しているか確認してください。また、近くに電波を妨害するものがある可能性があります。無線LANルーターの取扱説明書やホームページなどをご覧ください。

失敗画面にならずトップ画面になったとき

- ① 無線LANルーターのDHCP機能が「有効」になっていない場合は、「有効」にし、無線LANルーターが起動するまで待つ
- ② P21の手順1から再度設定をおこなう

※このとき、リモコンに「処理中です。しばらく待ってから再度操作をしてください。」というメッセージが表示された場合は、もうしばらく待ち(10分程度)、メッセージが出なくなってから設定をおこなってください。

リモコンとスマートフォンを接続する

準備

①日時あわせ(P10)をしておく

- 「ネットワーク日時に同期」(P36)が【有効】になっていれば、日時あわせの必要はありません。

②トップ画面に無線LAN状態表示が表示されていることを確認する(出ていない場合は、P21～22の手順1～4をおこなう)

③スマートフォンと無線LANルーターを接続する

- リモコンとスマートフォンは、同じ無線LANルーターの同じSSIDに接続してください。

④スマートフォンにエネファーム用アプリをダウンロードし、アプリを立ち上げる

- スマートフォン側の設定・操作については、エネファーム用アプリのウェブサイトをご覧ください。

<http://iot-gas.jp/manual/enefarmapp20/nef/>



手順

1. 【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、【無線LAN】をタッチする

2. 「無線LAN設定」の【▶】をタッチする

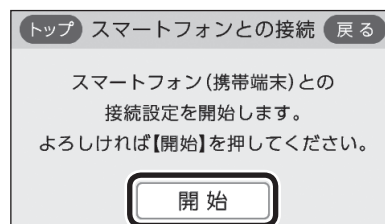


3. 「スマートフォンとの接続」の【▶】をタッチする



- 「スマートフォンとの接続」の【▶】がグレーになり設定ができないときは、以下を確認してください。
 - ・手順2で「無線LAN」が【ON】になっているか
 - ・トップ画面に無線LAN状態表示やが表示されているか

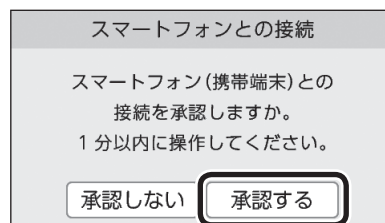
4. 【開始】をタッチする



5. 3分以内に、スマートフォンのエネファーム用アプリを立ち上げ、アプリの説明に従って操作する

- スマートフォンの操作をせずに約3分経過すると、接続失敗画面になります。

6. この画面が出たら【承認する】をタッチする



7. この画面になったら【OK】をタッチする



「スマートフォン(携帯端末)との接続に失敗しました」のメッセージを表示したとき

①次のことを確認する

- ・リモコンとスマートフォンは、同じ無線LANルーターのSSIDに接続されているか
→同じ無線LANルーターの同じSSIDに接続する
- ・無線LANルーターやリモコン・スマートフォンの近くで、電子レンジが動作していないか
→電子レンジが動作していないときに接続操作をする
- ・無線LANルーターがリモコンやスマートフォンと離れすぎているか
→無線LANルーターがつながる場所に無線LANルーターを移動させる

(つづく)

ツナガルスイッチを操作する

②【OK】をタッチし(手順4の画面に戻ります)、再度手順4からやり直す

- リモコンと接続した無線LANルーターのSSIDは、P40「接続ルーター情報」をご覧ください。
- ①の内容を確認後、手順4からやり直してもなお接続できない場合は、無線LANルーターが正常に動作しているか確認してください。また、近くに電波を妨害するものがある可能性があります。無線LANルーターの取扱説明書やホームページなどをご覧ください。それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店またはもよりのガス会社にお問い合わせください。

「登録台数が上限に達しています」のメッセージを表示したとき

①スマートフォンのエネファーム用アプリで、不要な登録を解除する

- P28「すべてのスマートフォンとの接続を解除する」でも解除できます。

②【OK】をタッチし(手順4の画面に戻ります)、再度手順4からやり直す

- リモコンとスマートフォンは、10台まで接続できます。スマートフォンの機種変更などで登録が増え、11台目を接続設定しようとする、この画面になります。

- リモコンの「ツナガルスイッチ」をタッチすると、あらかじめ設定したサービスにワンタッチでつながることができます。
- 「ツナガルスイッチ」を利用するには、リモコンと無線LANルーターとの接続(P21)、リモコンとスマートフォンとの接続(P25)が必要です。

準備

エネファーム用アプリでサービスを設定しておく

- 設定できるサービスや設定方法については、下記のURLから確認してください。

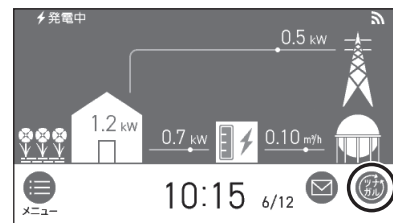
<http://iot-gas.jp/manual/enefarmapp20/nef/tsunagaru/>



手順

1. トップ画面で【ツナガル】をタッチする

(表示例)



- 「ツナガルスイッチ」の操作が受け付けられたら、「送信完了しました。」の画面を3秒間表示します。

リモコンにメッセージを表示したとき

- 「通信が実施できません。通信状態や無線LAN設定をご確認の上 再度実施してください。」と表示したとき
 - ・リモコンと無線LANルーターが接続されているか
→接続されていない場合は、リモコンと無線LANルーターを接続し(P21)、再度操作する
 - ・「無線LAN」メニューの「無線LAN」の設定が【OFF】になっていないか
→【OFF】になっている場合は【ON】にし、再度操作する
 - ・トップ画面の無線LAN状態表示(P8)がになっているか
→なっていない場合は、P46「リモコンの無線LAN状態表示」の項目を確認し、無線LAN状態表示がになった状態で再度操作する

配信情報を見る

- 「アプリの設定後に再度実施してください。」と表示したとき

エネファーム用アプリでサービスの設定をしてから、再度操作する

- 「サーバーへの通信に失敗しました。」と表示したとき

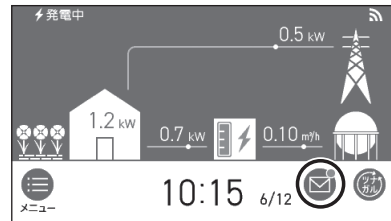
メンテナンス等で一時的にサーバーに接続できない場合があるため、少し時間をおいて再度操作する

- アプリまたはエネファームの販売事業者等から送信されたメッセージを確認できます。
- 配信情報を受信するためには、リモコンと無線LANルーターとの接続(P21)が必要です。

手順

1. トップ画面で【配信情報】をタッチする

(表示例)



- 未読のメッセージがあると、表示がになります。

2. 確認したい項目の【▶】をタッチする

トップ	配信情報	戻る
	2020/06/11 15:00	
	2020/06/02 09:40	
	2020/05/20 17:34	

- メッセージは最大3件まで記憶します。(3件以上になると古いメッセージから順に上書きされます)

お知らせ

- 最後に受け付けられた「ツナガルスイッチ」の操作を確認することができます。(P40「ツナガルスイッチ操作履歴」)

お知らせ

- 重要な配信情報を受信したときは、音声が届く場合があります。
- 配信情報を受け付けたくない場合は、P39「配信情報を受け付けなくにする」を【OFF】に設定してください。

すべてのスマートフォンとの接続を解除する

- リモコンに接続されているすべてのスマートフォンの接続を解除できます。個別の接続解除はスマートフォンでおこなってください。

手順

1. 【メニュー】→【音・その他】→ 右下の▼でページを送り、【無線LAN】をタッチする
2. 「無線LAN」が【ON】であることを確認する
 - 【OFF】になっている場合は【ON】にしてください。
3. 「無線LAN設定」の【▶】をタッチする

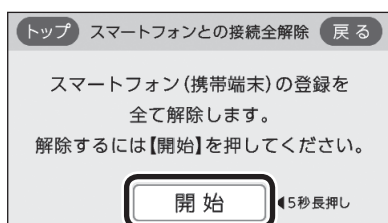


4. 「スマートフォンとの接続全解除」の【▶】をタッチする



- 「スマートフォンとの接続全解除」の【▶】がグレーになり設定ができないときは、手順2で「無線LAN」が【ON】になっているか確認してください。

5. 【開始】を約5秒長押しする



停電時発電継続仕様の場合

停電時に電気を使う ＜停電時発電継続運転＞

- リモコンに表示される「自立」という言葉は、「停電時発電継続運転」のことを表します。

⚠危険



災害時など、ガス漏れの危険性がある場合は、
停電時発電継続運転しない

禁止 火災などの原因になります。

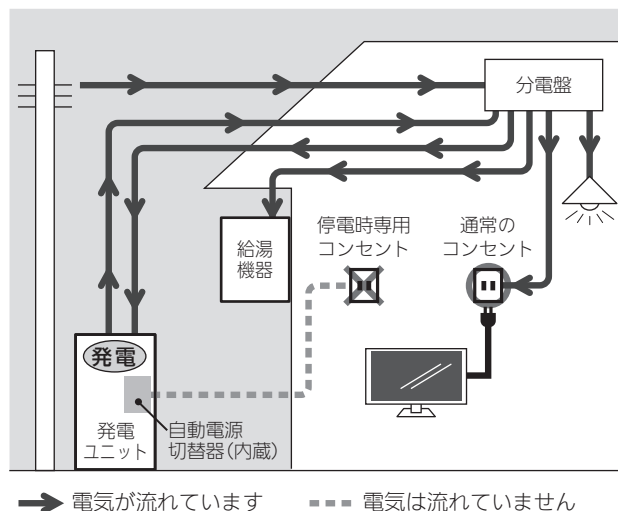
停電時にも電気を使える「停電時発電継続運転」のしくみ

- 発電ユニットの発電中に停電した場合、発電ユニットは停電時発電継続運転によって発電を継続するので、電気を使うことができます。（停電時発電継続運転のために必要な工事をおこなっている場合です）
電気機器は停電時専用コンセントを通して使用できます。（停電時専用コンセントには「エネファーム」/「停電時自立発電専用」/「出力電力約700W」と表示しています。事前に設置場所を確認してください）
- 停電時発電継続運転時の発電量は約700Wです。
- 給湯機器の電源は入らなくなりますが、貯湯タンクにお湯が蓄えられている場合、給湯栓を開ければ約30℃のお湯が出ます。
- 停電時発電継続運転は、停電時のみ使用してください。（普段使用すると、本来の機能やメリットが損なわれ、故障の原因となります）

使用するコンセントと電気の流れ

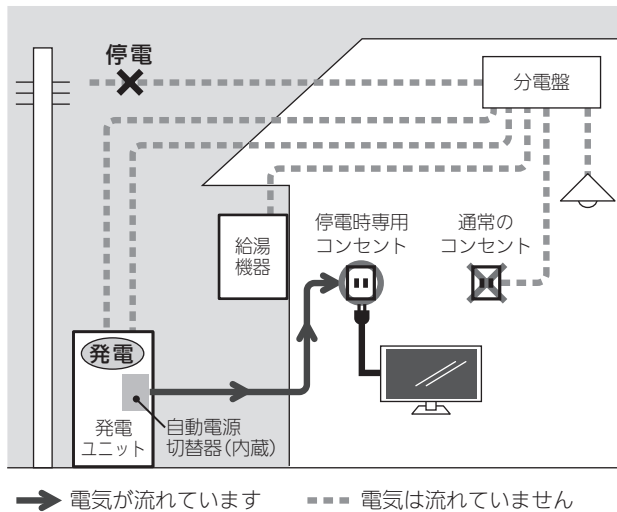
通常

発電ユニットで作られた電気と、
電力会社から供給された電気を併用します



停電時

発電ユニットで作られた電気を
停電時専用コンセントから供給します



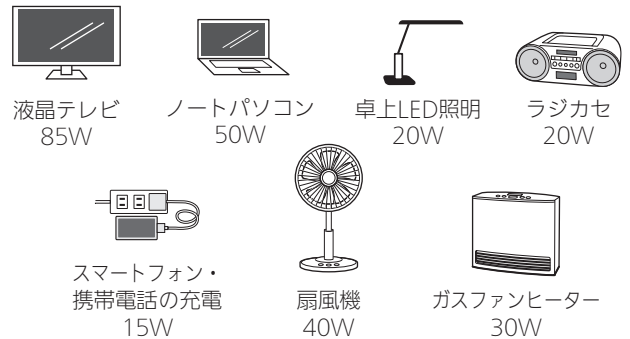
以下の場合には停電時発電継続運転できません

- 発電ユニットの停止中に停電した場合
- 災害などでガスの供給が停止している場合
- 停電時発電継続運転開始後に、「不在停止」(P34)や「発電禁止」(P35)などで停電時発電継続運転を停止させた場合

停電に備え、使用できる電気機器を確認しておいてください

- 使用する電気機器の消費電力の合計が700Wを超えないよう、取扱説明書や本体の表示シールなどで電気機器の消費電力を確認してください。
- 使用電力が発電量を超えると、電気機器の使用中に電気が使えなくなります。
- 電気機器の種類によっては、瞬間的に700Wを上回る電力負荷がかかるため、消費電力にかかわらず使用できないことがあります。

使用できる電気機器の例(消費電力の目安)



消費電力が大きく発電が停止する可能性がある電気機器の例

- ・冷蔵庫
- ・電子レンジ
- ・オーブントースター
- ・食洗機
- ・洗濯機
- ・衣類乾燥機
- ・温水洗浄便座
- ・掃除機
- ・こたつ
- ・エアコン
- ・電気カーペット

使用できない電気機器の例(消費電力の目安)



使用してはいけない電気機器

- ・電源が切れると生命・財産に損害を受けるおそれのある機器
- ・バッテリーを搭載していないパソコンなどの情報機器
- ・すべての医療用機器
- ・灯油などを用いた暖房機器

⚠警告

ガスファンヒーターの使用について

- ガスファンヒーターのご使用中は、部屋の換気にご注意ください。
必ず1時間に1～2回(各1～2分)、窓を開けるなどして換気をおこなってください。

(つづく)

- 停電時専用コンセントで利用できる電力が少なく、ガスファンヒーターを使用すると過負荷が発生するおそれがある場合は使用しないでください。
- ガスファンヒーター運転中に停電が発生したときは、温風の吹出口や機器背面(エアフィルター部や取手部分)に手を触れない。(やけどのおそれ)
- 停電時専用コンセントでガスファンヒーターを使用しているときに異常を感じた場合には、ただちにガス栓を閉じてガスファンヒーターの使用を中止し、東邦ガスに連絡する。

計画停電や工事などで停電が予定されている場合は

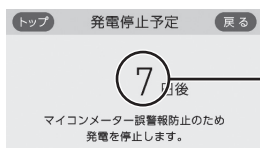
- 26日間連続して発電すると、27日目に約24時間発電が停止するしくみになっています。停電時発電継続運転と発電が停止するタイミングが合うと、停電時発電継続運転ができなくなります。停電予定日がわかっている場合は、事前に次の確認と操作をして、スムーズに停電時発電継続運転ができるよう備えてください。

停電予定日の2日以上前には、この確認・操作をおこなってください

①「発電停止予定」(P34)で、何日後に発電停止が予定されているか確認する

(表示例の場合、「7日後」となる)

(表示例)



②①で確認した日と前後の日が、停電予定日と重なっているかどうか確認する

(表示例の場合、「6日後、7日後、8日後」となる)

停電予定日に
重なっている場合は
次へ

停電予定日に
重なっていない場合は
このままでOK

発電メニューの「発電禁止」(P35)を「する」に設定

トップ画面に発電状況表示(P8)の⚡が表示されていない状態(発電停止状態)であることを確認

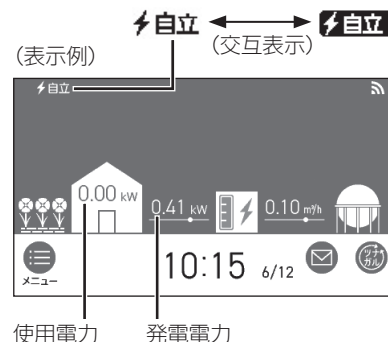
発電ユニットの停止確認後24時間たってから
「発電停止予定」(P34)が「26日後」になっている
ことを確認

「発電禁止」(P35)の設定を「しない」に戻す

停電したら(停電時発電継続運転のしかた)

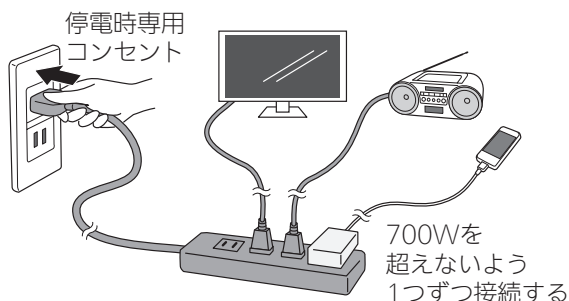
手順

1. トップ画面で「自立」が交互表示していることを確認する



- 「自立用コンセントの出力を準備中です。」の画面を表示している間は、準備中のためまだ電気は使えません。
- 停電時発電継続運転開始後は、すぐには700Wは使用できません。発電電力は徐々に上昇し、700W(表示は「0.70kW」)になるまでに約1分かかります。(ただし、発電ユニットの状態によっては1分以上かかることがあります)

2. 電気機器の電源プラグを停電時専用コンセントに差し込む(電気機器が使えます)



- 使用する電気機器との合計が発電電力(最大700W)を超えないよう使用電力表示を見ながら、1つずつ電気機器を追加してください。(P29「停電に備え、使用できる電気機器を確認しておいてください」)
- <電気機器の電源を入れたとき>電気機器の種類によっては一時的に使用できない場合があります。90秒ほど待つと使用できるようになるため、電気機器をつないだままにしてください。
※約90秒待っても使用できない場合は、使用電力が発電量を超えているため、すぐに電気機器の数を減らしてください。
- 停電時発電継続運転中は、リモコンの貯湯量を確認していただき、運転を継続するために給湯栓よりお湯を使用して減らしてください。
- 使用できない電気機器・使用してはいけない電気機器があるので、ご注意ください。(P29)
- 停電中、発電を停止すると、停電が復旧するまで発電をおこなうことができません。

電気機器の使用中に電気が使えなくなったとき (使用電力が発電量を超えています)

- ① 接続した電気機器をすぐに取り外す
- ② リモコンのトップ画面に「自立」が交互表示するまで待つ
- ③ 「自立」が交互表示したら、手順2に従って使用する

- しばらくしても停電時発電継続運転が復帰せず、リモコンに「自立用コンセントの出力が準備できませんでした。使用する電気を減らし【再開】を押してください。」とメッセージを表示しているときは、メッセージに従って操作をしてください。(停電時発電継続運転が復帰します)

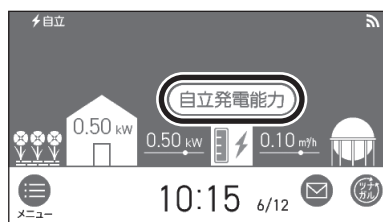
高出力モードで停電時発電継続運転をする

停電時発電継続運転時の発電量は700Wですが、条件によっては700W出力できないことがあります。トップ画面に【自立発電能力】が表示されている間は、強制的に700Wまで出力を上げることができます。以下の手順で高出力モードに設定して使用してください。

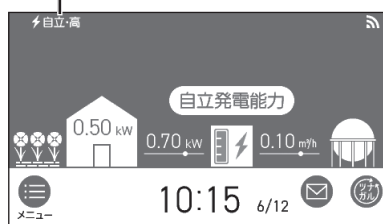
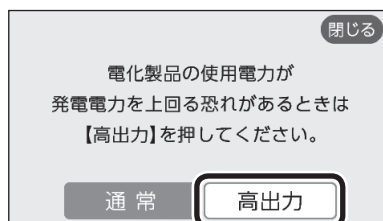
手順

1. トップ画面の【自立発電能力】をタッチする

(表示例)

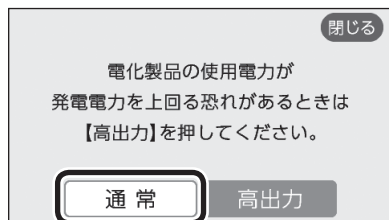


2. 【高出力】をタッチする



(つづく)

3. 700Wの出力が不要になれば、手順1～2の操作で【通常】をタッチして通常モードに戻す



- 700Wで使用し続けると、発電が停止しやすくなりますので、こまめに通常モードに戻してください。

以下の状況では、高出力モードが自動的に解除されます

- ・ 停電時専用コンセントの使用電力が少ない
- ・ 外気温が高い
- ・ お湯使用量が少ない

再度、高出力モードで使用したい場合は、【自立発電能力】が表示されるまでお湯を使用してください。

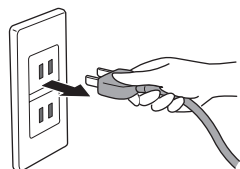
停電時発電継続運転を停止させるには

「発電禁止」(P35)を【する】に設定し、発電を停止させる

- 発電を停止させると、停電が復旧するまで発電できません。

停電が復旧したら

電気機器の運転スイッチを切り、電気機器の電源プラグを停電時専用コンセントから抜く



- 停電が復旧すると、停電時専用コンセントへの電気の供給が停止します。
- 電気機器をつないだままにすると、次回の停電時発電継続運転時に接続した機器に突然電気が流れ、機器を損傷したり、突然の動作による事故の原因になります。

メニューから運転操作をする・設定を変える(ユーザー設定)

- 各メニューから運転操作ができたり、いろいろな設定を変更できます。以下の一覧から、参照ページに記載の手順で操作してください。
- 表中の「初期化」欄の★は、P43「ユーザー設定を初期値に戻す」を実行したときに初期化される項目です。

変更(操作)できる内容		参照ページ	初期設定(工場出荷時)	初期化
発電	何日か不在にするとときに、発電をしばらく停止させる(不在停止)	P34	しない	—
	今までに発電を停止した回数を確認する	P34	—	—
	発電ユニットが停止するまでの日数を確認する	P34	—	—
	発電ユニットの水抜きをするときに、強制的に発電を停止させる(発電禁止)	P35	しない	—
音・その他	リモコンの音量を変更する	P35	🔊)中	★
	音声ガイド(声によるお知らせ)を消す(鳴らす)	P35	する	★
	日時をあわせる	P10	—	—
	時刻のずれを補正する	P36	0	—
	ネットワーク日時に同期する	P36	有効	★
	タッチ位置のずれを直す	P36	—	—
	画面の明るさを変更する	P37	3段	★
	表示の節電をしない(する) リモコン操作がない間は日時を大きく表示させる	P37	する	★
	表示の節電をするまでの時間を短くする	P38	標準	★
	トップ画面のモードを変更する	P9	ライト	★
	無線LAN機能をOFFにする	P38	ON	★
	リモコンと無線LANルーターを接続する	P21	—	★
	リモコンとスマートフォンを接続する	P25	—	★
	すべてのスマートフォンとの接続を解除する	P28	—	—
	通信機能をリセットする	P39	—	—
	配信情報を受け付けないようにする	P39	ON	★
	無線LANに関する設定情報を確認する	P40	—	★
	タッチパネルのお手入れをする	P41	—	—
	発電ランプの明るさを変更する	P41	明るい	★
	発電ランプの節電お知らせ設定値を変更する ※	P41	1.2kW	★
	発電ユニットの水抜きをする	P41	—	—
	発電ユニットの水張りをする	P42	—	—
	アフターサービスなどで機器情報が必要なとき	P42	—	—
	ユーザー設定を初期値に戻す	P43	—	—

※逆潮流の場合は表示しません。

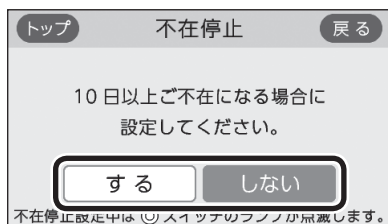
何日か不在にするときなどに、発電をしばらく停止させる(不在停止)

- 10日以上家をあけるなど、発電をしばらく停止したいときに設定してください。

※10日以上お湯を使用せず、リモコン操作もしない状態が続くと、自動的に不在停止になります。

手順

- ①【メニュー】→【発電】→【不在停止】をタッチする
- ② 設定したい内容をタッチする



【する】

画面が消灯し、発電ユニットが停止します。
(凍結予防運転は停止しません)
停止するまでに約10～12時間※かかります。
※機器の状態によって異なります。

【しない】

不在停止を解除する

- 不在停止を【する】に設定したあと再度【しない】に設定した場合は、発電ユニットの停止動作が完了してから起動します。起動してから発電を開始するまでに約4時間※かかります。
※機器の状態によって異なります。
- 長期不在時に凍結のおそれがある場合は、この方法ではなく水抜きが必要です。(発電ユニットの取扱説明書)
- 必要なとき以外は、不在停止を【する】にしないでください。機器の寿命低下の原因になります。

ご注意ください

不在停止設定を【する】にした後5時間以上経過後に、次の操作をおこなわないでください。不在停止が解除されてしまいます。不在停止設定後はなるべくリモコンに触れないでください。

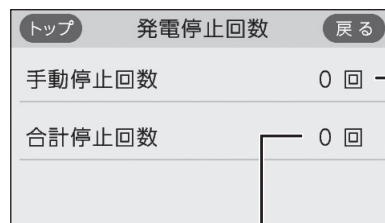
- ・発電専用リモコンのON/OFFスイッチを「入」にする。
- ・発電専用リモコンのタッチパネルをタッチする。
- ・給湯栓を開ける。(給湯機器のリモコンの「入」「切」に関わらず解除されます)

今までに発電を停止した回数を確認する

手順

- ①【メニュー】→【発電】→【発電停止回数】をタッチする

(表示例)



手動停止回数と発電ユニットが自動で停止した回数の合計

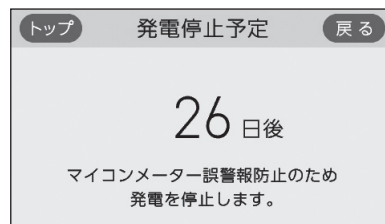
P34「不在停止」とP35「発電禁止」により手動で停止した回数

発電ユニットが停止するまでの日数を確認する

- 26日間連続して発電すると、ガスメーター(マイコンメーター)の誤警報防止のために発電ユニットが1日停止するしくみになっています。

手順

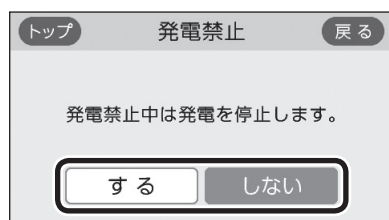
- ①【メニュー】→【発電】→【発電停止予定】をタッチする



発電ユニットの水抜きをするときに、強制的に発電を停止させる(発電禁止)

手順

- ①【メニュー】→【発電】→【発電禁止】をタッチする
※項目が表示されていない場合は、右下の▼でページを送る
- ② 設定したい内容をタッチする



【する】

発電ユニットを停止する。
停止するまでに約10～12時間※かかります。
※機器の状態によって異なります。

【しない】

発電禁止を解除する

- 必要なとき以外は、発電禁止を【する】にしないでください。機器の寿命低下の原因になります。
- 発電禁止を【する】に設定したあと再度【しない】に設定した場合は、発電ユニットの停止動作が完了してから発電ユニットを起動します。起動してから発電を開始するまでに約4時間※かかります。
※機器の状態によって異なります。

リモコンの音量を変更する

手順

- ①【メニュー】→【音・その他】→【音】をタッチする
- ②「音量」の【▶】をタッチする
- ③【-】【+】で変更する



設定範囲

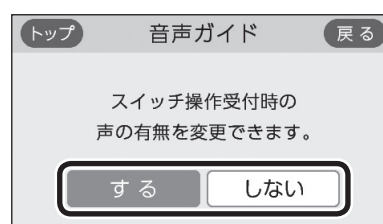
消音 小 中 大

- 「音声ガイド(声によるお知らせ)」のみ消したいとき→下記「音声ガイド(声によるお知らせ)を消す(鳴らす)」

音声ガイド(声によるお知らせ)を消す(鳴らす)

手順

- ①【メニュー】→【音・その他】→【音】をタッチする
- ②「音声ガイド」の【▶】をタッチする
- ③ 設定したい内容をタッチする



日時あわせをする

- P10「日時をあわせる」で説明しています。

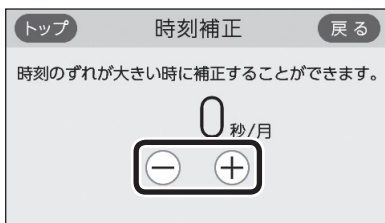
時刻のずれを補正する

- 無線LANルーターと接続すると、インターネットを介して自動で日時を取得するため「時刻補正」の必要はありません。

(ただし、「無線LAN」の設定(P38)を【OFF】にしたり、「ネットワーク日時に同期」の設定(P36)を【無効】にしたりと、自動で日時は取得できません)

手順

- ① 【メニュー】→【音・その他】→【日時設定】をタッチする
- ② 「時刻補正」の【▶】をタッチする
- ③ 【-】【+】で変更する



設定範囲(秒/月)

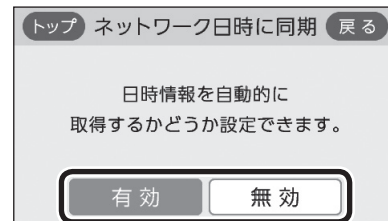
-45、-30、-15、0、+15、+30、+45

- リモコンの時刻が進む場合は+側、遅れる場合は-側の数値を設定してください。
(例)時刻が1年で3分遅れる場合は、-15秒/月に設定する。(1年で3分=1か月で15秒)

ネットワーク日時に同期する

手順

- ① リモコンと無線LANルーターを接続しておく(P21)
- ② 【メニュー】→【音・その他】→【日時設定】をタッチする
- ③ 「ネットワーク日時に同期」の【▶】をタッチする
- ④ 設定したい内容をタッチする



【有効】1日1回、自動的に日時情報を取得する

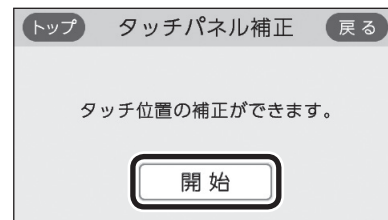
【無効】日時情報の取得を自動ではない

- 【無効】に設定していた場合に【有効】をタッチすると、すぐに日時情報を取得して日時をあわせます。

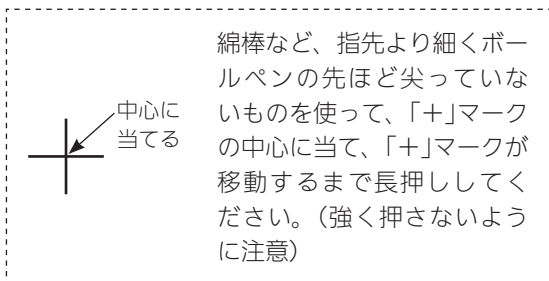
タッチ位置のずれを直す

手順

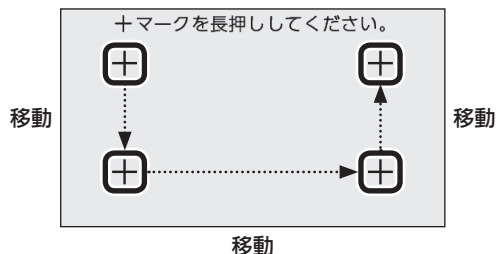
- ① 【メニュー】→【音・その他】→【タッチパネル補正】をタッチする
- ② 【開始】をタッチする



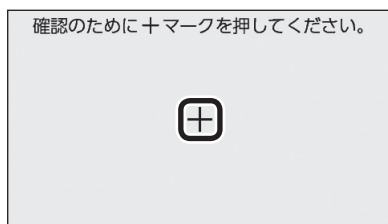
③「+」を長押しする



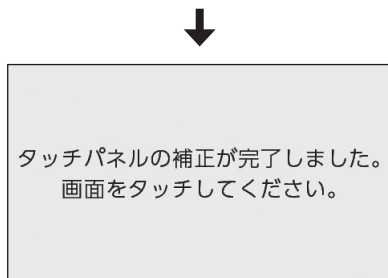
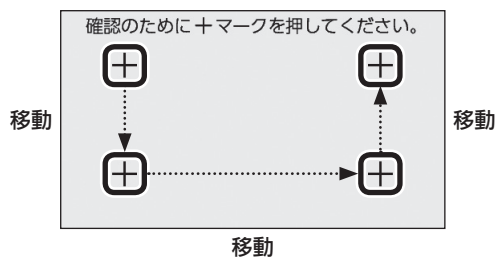
④ 移動する「+」を順番にすべて長押しする



⑤「+」を押す



⑥ 移動する「+」を順番にすべて押す



- 画面をタッチすると、タッチパネル補正画面に戻ります。
- 完了の画面にならない場合は、「+」の認識範囲以外の部分に、手が先に触れている可能性があります。

画面の明るさを変更する

手順

- ①【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、【画面設定】をタッチする
- ②「画面の明るさ」の【▶】をタッチする
- ③【-】【+】で変更する

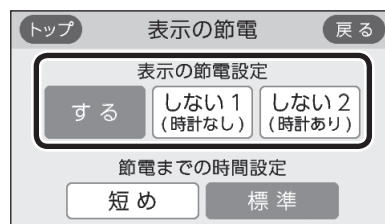


設定範囲
1段(暗い)～5段(明るい)

表示の節電をしない(する) リモコン操作がない間は日時を大きく表示させる

手順

- ①【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、【画面設定】をタッチする
- ②「表示の節電」の【▶】をタッチする
- ③「表示の節電設定」の設定したい内容をタッチする

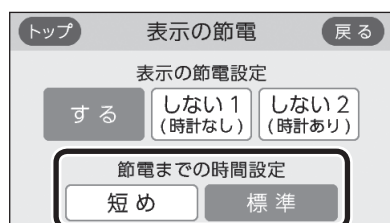


- 【する】
表示の節電をする
- 【しない1(時計なし)】
表示の節電をしない
- 【しない2(時計あり)】
ON/OFFスイッチを押したり画面をタッチしたりしないまま約10分※たつと、リモコンに日時を大きく表示させる(表示の節電はしません)
※時間を短くすることができます。(P38「表示の節電をするまでの時間を短くする」)

表示の節電をするまでの時間を短くする

手順

- ①【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、【画面設定】をタッチする
- ②「表示の節電」の【▶】をタッチする
- ③「節電までの時間設定」の設定したい内容をタッチする



【標準】

約10分で表示の節電をする

【短め】

約1分で表示の節電をする

- P37「表示の節電設定」を「しない2 (時計あり)」に設定している場合は、日時を大きく表示するまでの時間が変わります。

トップ画面のモードを変更する

- P9「トップ画面のモードを切り替える」で説明しています。

無線LAN機能をOFFにする

手順

- ①【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、【無線LAN】をタッチする
- ②「無線LAN」の設定したい内容をタッチする



リモコンと無線LANルーターを接続する

- P21「リモコンと無線LANルーターを接続する」で説明しています。

リモコンとスマートフォンを接続する

- P25「リモコンとスマートフォンを接続する」で説明しています。

すべてのスマートフォンとの接続を解除する

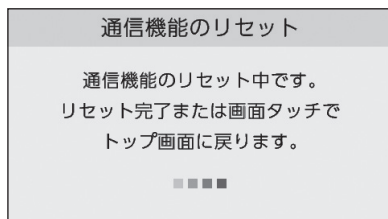
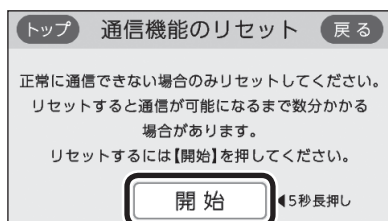
- P28「すべてのスマートフォンとの接続を解除する」で説明しています。

通信機能をリセットする

- トップ画面に無線LAN状態表示  が表示されているにも関わらず、通信ができない場合や、考えられる処置を試してみてもどうしても通信ができない場合に、下記の手順で通信機能のリセットをおこなってください。

手順

- ① 【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、【無線LAN】をタッチする
- ② 「無線LAN設定」の【▶】をタッチする
- ③ 右下の▼でページを送り、「通信機能のリセット」の【▶】をタッチする
- ④ 【開始】を約5秒長押しする

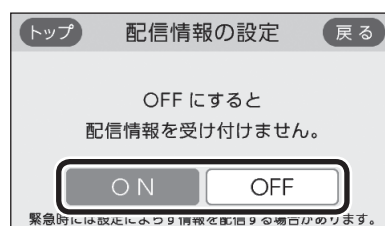


- 通信機能のリセットをおこなうと、数分間は無線通信できません。そのため、エネファーム用アプリに表示されるエネルックのデータが実際の使用状況とずれることがあります。
- ⑤ 通信機能のリセット後、通信に関する不具合が解消できたかどうか確認する
それでも通信できない場合は、東邦ガスに連絡してください

配信情報を受け付けないようにする

手順

- ① 【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、【無線LAN】をタッチする
- ② 「無線LAN設定」の【▶】をタッチする
- ③ 右下の▼でページを送り、「配信情報の設定」の【▶】をタッチする
- ④ 設定したい内容をタッチする



【ON】

配信情報を受け付ける

【OFF】

配信情報を受け付けない

（緊急時には情報を配信する場合があります）

無線LANに関する設定情報を確認する

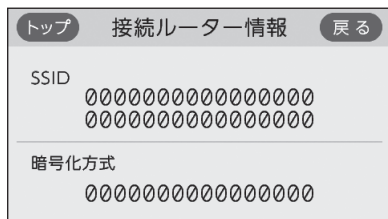
- 接続に失敗したときや、お問い合わせの際などに必要な設定情報を確認できます。
- リモコンと接続した無線LANルーターのSSIDを確認するには「接続ルーター情報」、リモコンと接続したスマートフォンの数を確認するには「接続UUIDリスト」をご覧ください。
- P21「電波法に関する注意」の「技適マーク」は、「設定情報」の最終項目「認証」の【次へ】をタッチすると、認証の画面(電子銘板)で表示されます。

手順

- ① 【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、【無線LAN】をタッチする
- ② 「設定情報」の【▶】をタッチする
- ③ 確認したい内容の【▶】をタッチする
※確認したい内容が表示されていない場合は、右下の▼でページを送る



(接続ルーター情報の表示例)



- 「0」には英数字が表示されます。また、表示例と桁数が異なる場合があります。

(リモコンアドレスの表示例)



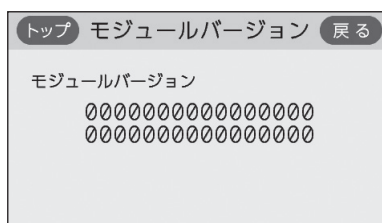
- 「0」には英数字が表示されます。また、表示例と桁数が異なる場合があります。

(接続UUIDリストの表示例)



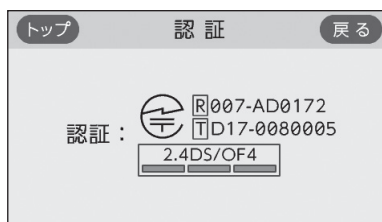
- UUIDとは、スマートフォンを識別するIDです。リモコンとスマートフォンが接続されている場合、接続されている数だけ表示されます。リモコンとスマートフォンが接続されていない場合は①～⑩の「0」は空白になります。
- 「0」には英数字が表示されます。また、表示例と桁数が異なる場合があります。

(モジュールバージョンの表示例)



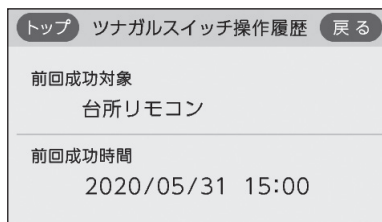
- 「0」には英数字が表示されます。また、表示例と桁数が異なる場合があります。

(認証(電子銘板)の表示例)



- 参照：P20「無線LAN通信についての注意」
P21「電波法に関する注意」

(ツナガルスイッチ操作履歴の表示例)

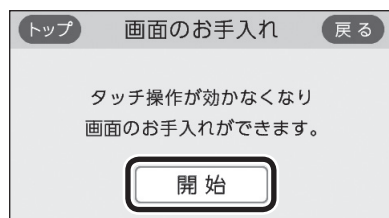


- 最後に受け付けられた「ツナガルスイッチ」の操作がいつ受け付けられたかを表示します。
※この画面での「台所リモコン」は、発電専用リモコンのことを表します。

タッチパネルのお手入れをする

手順

- ①【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、【画面のお手入れ】をタッチする
- ②【開始】をタッチする

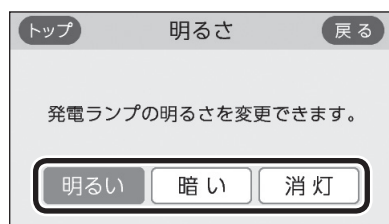


- ON/OFFスイッチを押すか、操作後約10分経過すると、お手入れモードは解除されます。

発電ランプの明るさを変更する

手順

- ①【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、【発電ランプ】をタッチする
- ②「明るさ」の【▶】をタッチする
- ③ 設定したい内容をタッチする



発電ランプの節電お知らせ設定値を変更する

- 日常的に使用電力が多く、発電ランプが頻繁にオレンジ色(節電お知らせ)になる場合などに、設定値を多めに設定してください。
- 逆潮流の場合は項目を表示しません。

手順

- ①【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、【発電ランプ】をタッチする
- ②「節電お知らせ設定値」の【▶】をタッチする
- ③【-】【+】で変更する



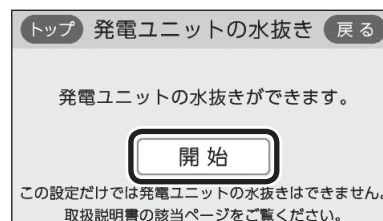
設定範囲(kW)
1.0~6.0

発電ユニットの水抜きをする

- この設定だけでは発電ユニットの水抜きはできません。必ず発電ユニットの取扱説明書の該当ページをご覧ください。

手順

- ①【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、【発電ユニットの水抜き】をタッチする
- ②【開始】をタッチする

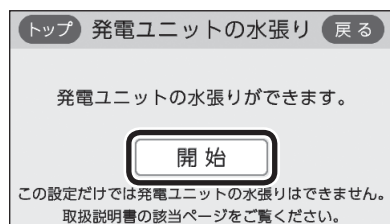


発電ユニットの水張りをする

- この設定だけでは発電ユニットの水張りはできません。必ず発電ユニットの取扱説明書の該当ページをご覧ください。

手順

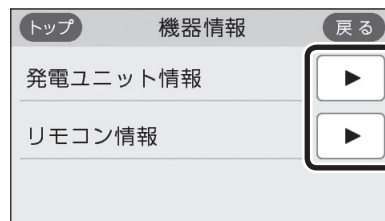
- ①【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、【発電ユニットの水張り】をタッチする
- ②【開始】をタッチする



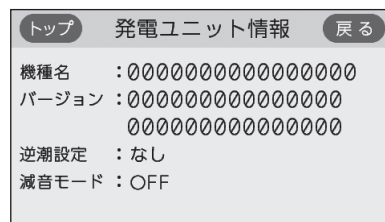
アフターサービスなどで機器情報が必要なとき

手順

- ①【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、【機器情報】をタッチする
- ② 確認したい内容の【▶】をタッチする

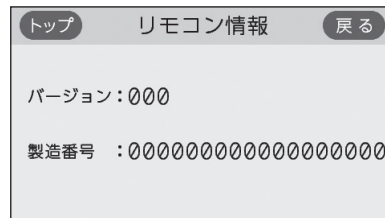


(発電ユニット情報の表示例)



- 「0」には英数字が表示されます。

(リモコン情報の表示例)



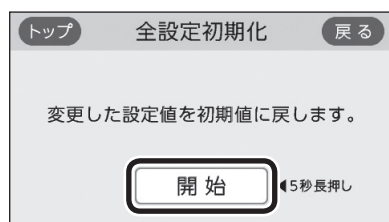
- 「0」には英数字が表示されます。

ユーザー設定を初期値に戻す

- P33の表中の「初期化」欄に★のある項目が初期化されます。

手順

- ① 【メニュー】→【音・その他】→右下の▼でページを送り、【全設定初期化】をタッチする
- ② 【開始】を約5秒長押し(ピピッと鳴るまで)



- ユーザー設定以外に、配信情報スイッチをタッチしたあとに表示される配信情報(P27)も初期化されます。

リモコンのお手入れ

- リモコンの表面が汚れたときは、湿った布で軽くふいてください。
- ON/OFFスイッチが「切」でも、画面をタッチすると反応するしくみになっています。
画面のお手入れ時にリモコンの誤操作を防ぐためには、【メニュー】→【音・その他】→【画面のお手入れ】(P41)の設定をしてください。

お願い

リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤、メラミンスポンジを使用しない
変色・変形・傷・割れなどの原因になります。

故障・異常かな？と思ったら

● 発電ユニットの取扱説明書の内容も併せてご覧ください。

絵表示の説明

- ❓ こんなときは(状況)
 - こんなことが考えられます(原因)
 - こうしてください(処置)

リモコンの表示や画面など

❓ ON/OFFランプが点灯しない

- 停電している。
→ 復旧を待つ。
- 発電ユニットの電源が切れている。
→ 電源プラグや電源ブレーカーを確認する。

❓ 日時表示や時計表示がリセットされている

- 停電のあとや電源を切ったあとは、再通電したときに日時や時計がリセットされている場合があります。
→ 日時を合わせ直す。(P10)

❓ 画面表示がいつのまにか消えている

- リモコンの節電のため、「表示の節電」機能を備えています。ON/OFFスイッチを押したり画面をタッチしたりしないまま約10分たつと画面表示が消えます。
→ 異常ではありません。

❓ 表示の節電の状態にならない

- 表示の節電をしない設定になっている。
→ 表示の節電を「する」に設定する。(P37)
- 発電ユニットが起動するときの約1分間は表示の節電はしません。
→ 異常ではありません。
- (停電時発電継続仕様の場合)
停電時発電継続運転中は表示の節電はしません。
→ 異常ではありません。

❓ 凍結予防運転中マーク❄️が点灯している

- 発電ユニットの凍結予防のため、ヒーターが作動しているときに点灯します。
→ 異常ではありません。

❓ タッチしたところと違うところが反応する

- 片方の指で画面を触りながらもう片方の指で操作するなど、2点同時にタッチすると、正常に動作しません。
→ 1か所だけタッチする。
- 使用していくうちに、タッチの位置にずれが生じることがあります。
→ タッチ位置のずれを直す。(P36)

❓ 画面をタッチしても反応しない

- 画面に市販の保護シートなどを貼り付けると、正常に動作しないことがあります。
→ 市販の保護シートは貼り付けない。

❓ 画面に黒い点や常に点灯している点がある

- 画面の液晶は高度な技術で作られています。一部に点灯しない点、または常時点灯する点が存在する場合があります。
→ 異常ではありません。

❓ リモコンにMの表示が出ている

- 発電中M・自立Mを表示しているときは、発電能力を制限しています。(1日に数回約6分間)
→ 異常ではありません。
- Mのみ表示している間は、発電ユニットは停止しています。
→ ・この表示が出たら、すべてのガス機器(暖房を含む)を最低70分停止してください。
・この表示が出ても発電ユニットの異常ではありません。(約24時間で発電ユニットの停止は解除されます)

❓ 「出力抑制」の表示が出ている

- 外気温が高いときや、熱が滞留するような設置環境にあるときは、運転を継続させるために、発電ユニットの出力を抑えます。これらの条件が解消されると、この機能は自動的に解除されます。
→ 発電ユニットの取扱説明書の「故障・異常かな？と思ったら」をご参照ください。

❓ (逆潮流の場合)「電圧抑制」の表示が出ている

- 自宅につながれている送電線の系統の電圧が高くなりすぎたとき、発電ユニット側の電圧が法律で定められた上限値を超えないよう、発電ユニットの出力を抑えます。(このとき「電圧抑制」を表示します) 系統の電圧が正常範囲に戻ると、この機能は自動的に解除されます。
→ 発電ユニットの取扱説明書の「故障・異常かな？と思ったら」をご参照ください。

❓ リモコンの操作中に、いきなり画面が消えた

- 発電ユニットのソフトウェアの更新が始まると、リモコンの画面が消えて、しばらく操作できなくなります。
→ 異常ではありません。

❓ 配信情報が消えた

- リモコンの「全設定初期化」をすると、配信情報が削除されます。
→ 異常ではありません。
- 停電のあとや電源を切ったあとは、再通電したときに配信情報が削除されます。
→ 異常ではありません。

❓ 表面のビニールが破れてきた、はがれてきた、浮き上がって空気が入っている

- 表面のビニールは保護シートです。はがさずに使用してもはがして使用してもかまいません。はがさずに使用した場合は、よく触れる部分などが破れてきたりはがれてきたりします。
→ 気になる場合は保護シートをはがす。

？ 見る角度によっては画面が見えにくくなる

- 画面は正面からは見やすく、一定の角度を超えて画面を見ると見えにくい場合があります。
→異常ではありません。

？ (蓄電池を使用している場合) 使用電力量の表示が、実際に使っている電力量より多い(または少ない)

- 蓄電池が充電または放電しているときは、家庭内で使用している電力量より多く表示されたり少なく表示されたりすることがあります。
→異常ではありません。

リモコンにメッセージを表示したとき

？ 「セルフチェックを実施しています。／完了後、発電を自動的に再開します。」(交互に表示)

- 発電ユニットの異常を検知してセルフチェックをしています。この表示が出ている間は発電が停止しています。
→この表示が消えると発電を再開します。

？ 「ただいま表示をOFFにすることはできません。」

- 停電時発電継続運転中や、故障表示中など、表示を消灯させてはいけない状況のときにON/OFFスイッチを「切」にすると、この表示が出ます。
→操作可能な状態になると、この表示は出なくなります。

？ 「機器に空気が混入しているため、発電ユニットの水張りをしてください。」

- 発電ユニットの取扱説明書にしたがって、「発電ユニットの水張り」をしてください。

？ 「発電ユニットの点検時期が近づいています。」 「発電ユニットの点検が必要です。」 「発電ユニットの点検時期を過ぎています。」

- 東邦ガスに連絡してください。

？ 「発電ユニット停止までお待ちください。」

- 発電ユニットが停止し、「 スイッチを押してエラーが解除されない場合は、メンテナンスを依頼してください。」のメッセージが表示されるまでお待ちください。(時間がかかります)
その後、下記「 スイッチを押してエラーが解除されない場合は、メンテナンスを依頼してください。」の表示が出る』の内容にしたがって、処置をしてください。

？ 「 スイッチを押してエラーが解除されない場合は、メンテナンスを依頼してください。」 (発電は停止しています)

- ON/OFFスイッチを押して、表示が消えれば問題ありません。表示が消えない場合は、東邦ガスに連絡してください。

？ 「処理中です。しばらく待ってから再度操作してください。」

「データの取得に失敗しました。取扱説明書をご確認の上 もう一度やり直してください。」

- 無線通信に必要なソフトウェアを自動的に更新しているときなどで通信が混雑していると、一時的に通信できない場合があります。

→10分程度時間をおいて、再度操作する。

再度操作しても同じ場合は通信機能をリセットしてください。(P39)

※それでも同じ現象であれば、故障の可能性があるので、東邦ガスにご連絡ください。

無線LAN機能

リモコンと無線LANルーターとの接続時

？ 無線LANルーターの検索接続で、検索した無線LANルーターのSSIDの表示に空白がある

- SSIDを日本語に設定している無線LANルーターは、表示に空白がある場合があります。
→異常ではありません。
SSIDの表示に空白がある場合でも、暗号化キーを入力すれば接続できます。

？ 無線LANルーターとの接続に失敗した

- 無線LANルーターの電源が切れている。
→無線LANルーターの電源を入れる。
- 無線LANルーターが正常に動作していない。
→同じ無線LANルーターを使っている機器がインターネットに接続できているか確認する。
接続できていない場合は、無線LANルーターに異常がないか確認する。
- 無線LANルーターやリモコンの近くで、電子レンジを使用している。
→電子レンジを使用していないときに操作をする。
- 無線LANルーターがリモコンと離れすぎている。
または、壁・ドア・家具・金属などの障害物がある。
→無線LANルーターがつながる場所に無線LANルーターを移動させる。
- 無線LANルーターのDHCP機能を「無効」にしている。
→DHCP機能を「有効」にする。
- 無線LANルーターの暗号化方式がWEP方式である、または暗号化されていない。
→暗号化方式を「WPA/WPA2」「WPA2」「WPA」のいずれかに設定する。

？ 無線LANルーターの検索接続で、無線LANルーターのSSIDが表示されない

- 無線LANルーターがステルス設定になっている。
→無線LANルーターの取扱説明書やホームページなどを参考に、ステルス設定を解除する。

リモコンの無線LAN状態表示

? 無線LAN状態表示が表示されない

- リモコンと無線LANルーターが接続設定されていないと、無線LAN状態表示は表示されません。
→無線LANルーターと接続する。(P21)
- 無線LANルーターと接続していても、「無線LAN」の設定が【OFF】になっていると無線LAN状態表示は表示されません。
→P38の方法で、「無線LAN」の設定を【ON】にする。

? 無線LAN状態表示が になっている

- 日時が設定されていない。
→日時あわせをする。(P10)
- 無線LANルーターのLANケーブルが外れている。
→LANケーブルが外れていれば接続する。
- 無線LANルーターが正常に動作していない。
→同じ無線LANルーターを使っている機器がインターネットに接続できているか確認する。
接続できていない場合は、無線LANルーターに異常がないか確認する。
- 契約されているインターネットに障害が発生している。
→ご使用の無線LANルーターに接続されている他の機器が正常に無線LAN通信できていない場合は、プロバイダーに問い合わせる。
- 無線通信に必要なソフトウェアを自動的に更新しているときなどで一時的に通信ができない場合があります。
→少し時間をおいて再度確認する。
- 無線LANルーターをリセットすることで復帰する場合があります。
→無線LANルーターの電源を「切」→「入」して、再度確認する。

? 無線LAN状態表示が「圏外」になっている

- 無線LANルーターがリモコンと離れすぎている。
または、壁・ドア・家具・金属などの障害物がある。
→無線LANルーターがつながる場所に無線LANルーターを移動させる。
- 電子レンジなどの強い電波を発するものを使用していると、通信が切れる場合があります。
→異常ではありません。
電子レンジなどを使用していないときに、再度確認する。
- 無線LANルーターを交換した。(新しい無線LANルーターとリモコンとの接続設定をしていないと「圏外」表示が出ます)
→新しい無線LANルーターと接続する。(P21)
- 無線LANルーターの異常の可能性があります。
→無線LANルーターに異常がないか確認する。
- 無線通信に必要なソフトウェアを自動的に更新しているときなどで一時的に通信ができない場合があります。
→少し時間をおいて再度確認する。
- 無線LANルーターをリセットすることで復帰する場合があります。
→無線LANルーターの電源を「切」→「入」して、再度確認する。

? 無線LAN状態表示が になっているのに、通信ができない

考えられる処置をしてみたが通信ができない

- 外部の原因も考えられますが、念のためリモコン側のリセットをしてみてください。
→通信機能をリセットする。(P39)
- リモコンのソフトウェアを自動的にダウンロードしているときに一時的に通信ができない場合があります。
→少し時間をおいて再度確認する。

リモコンとスマートフォンとの接続時

? リモコンとスマートフォンとの接続に失敗した

- リモコンとスマートフォンが、同じ無線LANルーターに接続されていない。
→同じ無線LANルーターに接続する。
※同じ無線LANルーターに接続していても失敗する場合は、同じSSIDに接続する。
- 対象ではないエネファーム用アプリを使用している。
→対象のエネファーム用アプリを使用する。(P19)
- 無線LAN状態表示が  や「圏外」になっている。
→P46「リモコンの無線LAN状態表示」の項目を確認する。

(停電時発電継続仕様の場合) 停電時発電継続運転

停電中

? 電気機器の電源が入らない

- 電気機器を通常のコンセントに接続している。
→電気機器を「停電時専用コンセント」に接続する。
- 電気機器の使用電力が発電量を超えている。
→使用する電気機器の数をすぐに減らし(P29「停電に備え、使用できる電気機器を確認しておいてください」)、停電時専用コンセントが使えるようになるまで待つ。
「自立用コンセントの出力が準備できました。使用する電気を減らし【再開】を押してください。」とメッセージが出ているときは、メッセージに従って操作をする。
- P29「以下の場合は停電時発電継続運転できません」の理由により、停電時発電継続運転が停止している。
→停電が復旧するまで発電できません。

? リモコンのON/OFFスイッチが「入」にならない

- P29「以下の場合は停電時発電継続運転できません」の理由により、停電時発電継続運転が停止している。
→停電が復旧するまで発電できません。

? 画面表示がいつのまにか消えている

- 発電ユニットに不具合が生じた可能性があります。
→停電復旧後、故障表示が出ている場合は、発電ユニットの取扱説明書を確認し、処置をする。

① リモコンでお知らせ音(ピピッ)が鳴り、「発電継続のために、お湯を使ってください。」の表示が出ている

- 貯湯タンクが満タンになって発電が停止するのを予防するため、貯湯タンクが満タンに近づく则表示と音でお知らせします。
- お風呂のお湯はりをするなどして、お知らせ音と表示が消えるまでお湯を使う。

停電復旧後

② 電気機器の電源が入らない

- 電気機器を「停電時専用コンセント」に接続している。
- 電気機器を通常のコンセントに接続する。
- 停電が復旧すると、停電時専用コンセントへの電気の供給が停止します。

リモコンに故障表示が出ているとき

- 不具合が生じたとき、(発電エラー)と5桁の英数字が交互表示します。表示の内容と処置方法については、発電ユニットの取扱説明書をご覧ください。

リモコンにアップデートに関するお知らせを表示したとき

- 画面に従って操作してください。

ご注意ください

- アップデート中は、数分間、画面が消灯してリモコンを操作できません。アップデートが完了すると、操作できるようになります。
- エネルギーの当日分のデータが削除されたり正しい値を表示しなかったりします。

転居されるとき

- 転居される際は、リモコンの「全設定初期化」をおこない、お客さまの無線LANルーターやスマートフォンの情報をリモコンから削除してください。（P43「ユーザー設定を初期値に戻す」）

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

- リモコンに関するサービスおよび保証は発電ユニットに準じます。発電ユニットの取扱説明書・保証書は、内容をご確認の上、大切に保管してください。
- この取扱説明書の「故障・異常かな？と思ったら」と発電ユニットの取扱説明書を調べていただき、なお異常のあるときは、下記へご連絡ください。

東邦ガス株式会社
エネファーム・エコウィル
サポートセンター
フリーダイヤル 0120-677-977

移設される場合

- 移設作業はお客さま自身でおこなわず、東邦ガスにご相談ください。